



## 第1回 よこはま保健医療プラン策定検討部会 次第

平成28年11月29日(火) 18:30~  
市庁舎5階 関係機関執務室

---

### 1 開 会

### 2 あいさつ(横浜市医療局長)

### 3 委員紹介

### 4 議 事

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| (1) 部会の進め方について             | 【資料1】 |
| (2) よこはま保健医療プラン2013の概要について | 【資料2】 |
| (3) 2025年に向けた医療提供体制について    | 【資料3】 |
| (4) 横浜市民の医療に関する意識調査(案)について | 【資料4】 |

### 5 その他

### 6 閉 会

---

## よこはま保健医療プラン策定検討部会設置要綱

制 定 平成 24 年 5 月 1 日

最近改正 平成 28 年 8 月 15 日

## (趣旨)

第 1 条 この要綱は、保健医療分野を中心とした施策を総合的に体系づけた中期的な指針となる「よこはま保健医療プラン」の策定にあたり、専門の事項を協議するため、横浜市保健医療協議会運営要綱第 7 条第 1 項に基づく部会として、よこはま保健医療プラン策定検討部会（以下「部会」という。）を置き、部会の運営その他必要な事項について定めるものとする。

## (内容)

第 2 条 部会は、次の事項について協議を行うものとする。

- (1) 「よこはま保健医療プラン」の策定
- (2) その他必要な事項

## (構成)

第 3 条 部会は、横浜市保健医療協議会（以下「協議会」という。）の委員、臨時委員及び関係団体の代表等のうちから、協議会会長が指名する者をもって組織する。

## (部会長)

第 4 条 部会は、部会長を 1 人置き、協議会会長が指名する。

## (会議)

第 5 条 部会の会議は、協議会会長の指示に応じ部会長が招集する。

## (会議の公開)

第 6 条 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（平成 12 年 2 月横浜市条例第 1 号）第 31 条の規定により、部会の会議については、一般に公開するものとする。ただし、委員の承諾があれば、会議の一部又は全部を非公開とすることができる。非公開とする場合は、傍聴人を会場から退去させるものとする。

## (意見の聴取等)

第 7 条 部会長は、会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

## (解散)

第 8 条 部会は、「よこはま保健医療プラン」の策定終了をもって、解散するものとする。

## (庶務)

第 9 条 部会の庶務は、医療局医療政策部医療政策課において処理する。

## (委任)

第 10 条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が部会の会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成 24 年 5 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成 28 年 8 月 15 日から施行する。

## よこはま保健医療プラン策定検討部会委員名簿

五十音順(敬称略)

分野	委員	団体・現職等
委員	アキヤマ ハルヒコ 秋山 治彦	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 臨床研究部長
委員	イシハラ ジュン 石原 淳	横浜市立市民病院 病院長
委員	イノウエ トミオ 井上 登美夫	横浜市立大学 教授 医学部長
部会長	オオクボ イチロウ 大久保 一郎	筑波大学医学医療系 教授
委員	オダワラ トシナリ 小田原 俊成	横浜市立大学保健管理センター 教授 センター長
委員	カワタ サトシ 川田 哲	横浜市薬剤師会 副会長
委員	クリハラ ミホコ 栗原 美穂子	横浜在宅看護協議会 会長
委員	シンボ シュウジ 神保 修治	横浜市民生委員児童委員協議会 理事
委員	トリヤマ ナオハル 鳥山 直温	横浜市医師会 副会長
委員	ハラ クミ美 原 久美	神奈川県看護協会理事 横浜北支部長
委員	ヒラモト マコト 平元 周	横浜市病院協会 副会長
委員	フシミ キョウヒデ 伏見 清秀	東京医科歯科大学 医学部 教授
委員	ホリモト リュウジ 堀元 隆司	横浜市歯科医師会 常務理事
委員	ミスミ タカヒコ 三角 隆彦	済生会横浜市東部病院 院長
委員	ヤマムラ リョウイチ 山村 良一	横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会地域ケアプラザ分科会

## ■年間スケジュール案について

## 年間スケジュール案

	平成28年度		平成29年度				平成30年度
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4月～
保健医療協議会		★			★	★	策定
検討部会	★	★	★ (★) ★		★		
プラン策定	論点議論	骨子	素案		最終案		
市民意識調査	実施・集計						
パブリックコメント					実施		

## 各回のテーマ

- ・第1回（28年11月29日）：①年間予定、②保健医療プラン2013概要、  
③2025年に向けた医療提供体制（地域医療構想）、④市民意識調査  
＜28年12月上旬～下旬：市民意識調査実施＞
- ・第2回（29年3月頃） ①市民意識調査結果、②2018骨子案  
＜29年3月頃 国より策定指針が示される見込み＞
- ・第3回（29年6月頃） ①2018骨子案
- （・第4回（29年7月頃） ①2018骨子案2 ※必要に応じて開催）  
＜29年9月中旬：常任委員会へ検討状況報告＞
- ・第5回（29年9月頃） ①2018素案  
＜29年10月中旬～11月中旬：パブリックコメント実施＞
- ・第6回（30年11月下旬頃） ①パブコメ結果、②2018最終案《答申案》  
＜29年12月初旬：保健医療協議会へ報告＞

■ 議題 1 : よこはま保健医療プラン 2013 の概要について

【概要】よこはま保健医療プランは、本市独自の行政計画として、保健医療分野を中心とした施策を総合的に体系づけた中期的な指針として平成 20 年に策定しました。医療法に規定された「医療計画」を基本に、「横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」や「健康横浜 21」などと整合を図りつつ、まとめています。

<参考> 基礎データ

・基準病床数 22,190 床  
・既存病床数 22,554 床 (24 年 3 月 31 日)

・人口 ㊦372.5 万人→㊦371.8 万人  
(うち 65 歳以上 ㊦ 87.7 万人→㊦ 97.2 万人)  
(うち 75 歳以上 ㊦ 41.0 万人→㊦ 58.6 万人)

■ よこはま保健医療プラン 2013 より

■ I 章 プランの基本的な考え方(P.1-)

計画策定趣旨・位置付け

基本理念

- ・市民中心の保健医療の仕組みづくりを推進する
- ・高齢化の一層の進展が見込まれるなか、安心して暮らせる社会の実現に向けて、必要な施策を推進する

■ II 章 横浜市の保健医療の現状(P.5-)

- (1)地勢と交通
- (2)人口構造
- (3)人口動態
- (4)受療状況

- (5)保健医療圏と基準病床
- (6)医療提供体制  
(病床数・医療従事者数等)
- (7)生活習慣と生活習慣病

■ III 章 横浜市の保健医療の目指す姿(P.31-)

超高齢社会において安心して暮らせる社会の実現  
本市実情に即した質の高い効率的な保健医療体制

- ・身近な生活圏域での保健医療提供体制の充実
- ・患者中心の医療の推進
- ・主体的な健康づくり(健康横浜 21 との連動)
- ・市民・提供者・行政の役割分担と協力関係

■ IV 章 主要な疾病(5 疾病)ごとの切れ目のない保健医療連携体制の構築(P.35-)

1. がん(P.36-)	<p>【実績・取組事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん検診受診率 (69 歳以下)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25 実績</th> <th>28 目標</th> <th></th> <th>25 実績</th> <th>28 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>37.6%</td> <td>40%</td> <td>乳がん</td> <td>43.0%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>37.6%</td> <td>40%</td> <td>子宮がん</td> <td>44.6%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>35.8%</td> <td>40%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		25 実績	28 目標		25 実績	28 目標	胃がん	37.6%	40%	乳がん	43.0%	50%	肺がん	37.6%	40%	子宮がん	44.6%	50%	大腸がん	35.8%	40%			
	25 実績	28 目標		25 実績	28 目標																				
胃がん	37.6%	40%	乳がん	43.0%	50%																				
肺がん	37.6%	40%	子宮がん	44.6%	50%																				
大腸がん	35.8%	40%																							
2. 脳卒中(P.51-)	<p>【実績・取組事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よこはま健康アクション Stage1」の推進(再掲)</li> <li>○ 初期症状や緊急受診の必要性周知のための市民啓発(電車・医療機関・公共施設等にポスター掲示、講演会開催)</li> <li>○ 脳血管疾患救急医療体制参加医療機関連絡会の開催(連絡会 1 回、幹事会 2 回)</li> <li>○ YMIS を通じた医療機関の応需情報の提供</li> </ul>																								
3. 急性心筋梗塞(P.65-)	<p>【実績・取組事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よこはま健康アクション Stage1」の推進(再掲)</li> <li>○ 急性心疾患救急医療体制の参加基準見直し(㊦運用(改正済))</li> <li>○ 緊急手術に対応できる医療機関との連携体制の構築(㊦検討)</li> </ul>																								
4. 糖尿病(P.75-)	<p>【実績・取組事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よこはま健康アクション Stage1」の推進(再掲)</li> <li>○ 医療機関との連携による、重症化予防普及啓発のモデル実施</li> </ul>																								
5. 精神疾患(P.79-)	<p>【実績・取組事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神科救急入院料等の取得促進 (㊦7 施設)</li> <li>○ 警察官通報受理から診察開始までの平均時間(㊦4 時間 31 分)</li> <li>○ チームアプローチ支援の仕組み構築 (㊦検討)</li> </ul>																								

■ V 章 主要な事業(4 事業及び在宅医療)ごとの医療体制の充実・強化

1. 救急医療(P.92-)	<p>【実績・取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 休日急患診療所老朽化対応数 (㊦1 施設(累計 15 施設))</li> <li>○ 重症外傷センター整備数 (㊦2 か所)</li> <li>○ 二次救急拠点病院数 (㊦22 病院)</li> <li>○ 小児救急拠点病院 (㊦7 病院)</li> </ul>
2. 災害時医療(P.99-)	<p>【実績・取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 被災時の負傷者受入れ医療機関数(㊦115 か所)</li> <li>○ 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の登録医療機関数 (㊦192 か所)</li> <li>○ 非常時の通信手段を備えた医療機関数(㊦98 か所)</li> </ul>
3. 周産期(救急)医療(P.102-)	<p>【実績・取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出産に対応する施設数 (㊦54 か所)</li> <li>○ 産科拠点病院の整備 (㊦3 か所)</li> <li>○ NICU 病床数 (㊦99 床)</li> </ul>
4. 小児(救急)医療(P.108-)	<p>【実績・取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小児救急拠点病院 (㊦7 か所)</li> <li>○ 小児救急啓発事業の推進 (㊦18 区)</li> </ul>
5. 在宅医療(P.112-)	<p>【実績・取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在宅医療連携拠点の整備 (㊦17 か所)</li> <li>○ かかりつけ医対象の在宅医療研修の実施(㊦15 区・584 人)</li> <li>○ 市民啓発講演会の実施 (㊦15 区・1,761 人)</li> </ul>

■ 議題 1 : よこはま保健医療プラン 2013 の概要について

■ よこはま保健医療プラン 2013 より

■ VI章 患者中心の安全で質の高い医療を提供する体制の確保 (P.117-)

・ 公的医療機関等の役割  
 ・ 薬局の役割  
 ・ 医療従事者の確保  
 ・ 医療安全対策の推進  
 ・ 医療機能に関する情報提供の推進

**【実績・取組事項等】**

- 市民病院再整備 (②事業用地取得契約締結、基本設計完了)
- 地域医療構想調整会議の開催 (② 5 回)
- 患者・家族への説明等を診療録等に記載し、医療安全確保を図る (②適合病院 59%)
- 市民病院等安全管理者会議 (②73 施設(55%))
- 薬局等への監視指導実施率 (②26%)

■ VII章 主要な保健医療施策の推進 (P.141-)

**1. 感染症対策(P.142-)**

(1)感染症対策全般 研修の充実、啓発  
 (2)結核対策 DOTS(直接服薬確認療法)の推進、健診強化  
 (3)エイズ対策 相談・検査体制の強化、啓発  
 (4)予防接種 ワクチン導入への早期対応  
 (5)新型インフルエンザ対策 抗インフル剤等の継続的備蓄  
 (6)肝炎対策 広報・啓発

**【実績・取組事項等】**

- 結核罹患率 (②15.6)
- HIV 検査 (②3,354 件) HIV 相談 (②4,433 件)
- 風疹対策 (②抗体検査 10,354 件、予防接種 10,538 件)
- 抗インフル薬循環備蓄実施 (約 5,000 人分)
- 肝炎検査 (②28,575 人)

**2. 難治性疾患対策(P.154-)**

国の難病患者支援の仕組みの検討を注視、適切な支援の実施

**【実績・取組事項等】**

- 指定難病の対象疾病数拡充 (110→306) に伴い、市単独事業の利用対象者を拡充

**3. アレルギー疾患対策(P.155-)**

みなと赤十字病院等と連携し、診療ネットワーク等を構築  
 保育所や学校等への継続的研修、講演会等普及啓発

**【実績・取組事項等】**

- 保育所等職員を対象としたアレルギーに関する研修会の実施 (②計 5 回、1,478 名参加)

**4. 認知症疾患対策(P.157-)**

認知症疾患医療センター設置、ステージに応じた切れ目ない医療  
 早期発見・早期対応に向けかかりつけ医対象研修の実施

**【実績・取組事項等】**

- 認知症疾患医療センターの設置 (②新規 1 か所、累計 4 か所)
- 認知症初期集中支援チームの設置 (②新規 2 か所)
- 認知症ケアパスを作成
- かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施 (②2 回 76 名参加)

**5. 障害児・者の保健医療(P.160-)**

(1)医療提供体制の充実 知的障害等に理解ある医療機関を増やす  
 (2)リハの充実 横浜市総合リハビリテーションセンターとの連携  
 (3)重症心身障害児・者への対応 多機能型拠点の整備

**【実績・取組事項等】**

- 知的障害者対応専門外来の設置 (②2 か所(継続))
- メディカルショートステイ事業の実施 (②10 病院、107 件)
- 高次脳機能障害者地域ネットワーク (②6 区)
- 多機能型拠点の整備 (②設計・工事)
- 重症心身障害児施設整備 (②整備)

**6. 歯科口腔保健医療 (P.164-)**

全てのライフステージを通じた、口腔健康・口腔機能の維持・向上  
 (妊婦歯科健診、歯周病予防教室、かかりつけ歯科医への理解等)

**【実績・取組事項等】**

○ (「第 2 期健康横浜 21」より抜粋(平成 34 年度までの計画))

	内容	27 実績	34 目標
乳幼児期	3 歳児で虫歯のない者	-	90%
学齢期	12 歳児のむし歯数	-	維持・減少
成人期～	40 歳代で進行した歯周病を有する者	-	維持・減少
	20 歳以上で過去 1 年間に歯科健診を受診した者	-	65%
	80 歳で 20 本以上自歯の者	-	50%
	60 歳代で何でも噛んで食べられる者	-	80%

**7. 保健医療を取り巻く環境の整備(P.168-)**

歯科口腔保健医療 (P.164)  
 歯科口腔保険医療 (P.164)  
 (2)生活衛生対策 新築の大型建築物、福祉施設に対する指導、啓発

**【実績・取組事項等】**

- 飲食店へ生食用肉の基準数値、確認
- 飲食店へ鶏生肉提供禁止等指導 (②立入監視 6,269 施設)
- レジオネラ症発症患者利用施設調査 (②社会福祉施設 14 か所)

■ VIII章 生涯を通じた健康づくりの推進 (P.173-)

**1. 母子保健・学校保健(P.174-)**

(1)母子保健 生涯にわたる女性の健康に関する相談の充実  
 (2)学校保健 食育、体力向上

**【実績・取組事項等】**

- 女性の健康相談実施回数 (②38,684 回)
- 健康教育の実施回数 (②990 回)
- 母子訪問指導件数 (②32,810 件)
- 朝食を食べている小・中学生 (②93.2%)

**2. 生活習慣病予防の推進 (第 2 期健康横浜 21 の推進) (P.178-)**

生活習慣の改善 (食生活、歯・口腔、喫煙・飲酒、運動、休養・こころ)  
 生活習慣病の重症化予防 (がん検診、特定健診の普及)

**【実績・取組事項等】**

○ (「第 2 期健康横浜 21」より抜粋(平成 34 年度までの計画))

	27 実績	34 目標
健康寿命	-	健康寿命を延ばす

**3. メンタルヘルス対策の推進(P.185-)**

(1)メンタルヘルス 市民周知、研修の充実  
 (2)自殺対策 ゲートキーパーの養成

**【実績・取組事項等】**

- 専門的なゲートキーパー数 (②1,561 人)

■ IX章 計画の進行管理等(P.189-)

## 【参考】厚生労働省での検討会の議論より

「医療計画の見直し等に関する検討会(28年11月24日)」資料より抜粋

現在、次期医療計画策定に向けた必要事項について、国の各種検討会にて議論を行っているところです。地域医療構想の位置づけや地域包括ケアシステムの構築を含む医療介護連携など課題等を整理し、作成指針等の見直しを行います。

### ■ 5 疾病について

#### <がん関連>

- 治療を主とする医療に加え、予防や社会復帰、治療と職業生活の両立に向けた支援に取り組む
- 外来や在宅医療におけるがん診療に関し、拠点病院等を中心とした、その他医療機関、薬局等との地域における連携体制を構築する。
- 合併症予防・軽減のため、周術期口腔管理に係る医科歯科連携やQOL向上支援を推進する。

#### <脳卒中関連>

- 発症後、病院前救護を含め、早急に適切な急性期診療を実施する体制の構築が必要
- 発症早期のリハの推進と共に、回復期、維持期のリハに中断なく移行できるよう連携を図る。
- 誤嚥性肺炎予防のため、嚥下機能維持・改善リハや、清潔保持のための口腔ケア実施等、医科歯科連携等の合併症予防の取組を推進する。

#### <急性心筋梗塞関連>

- 急性心筋梗塞に限らず、心不全等の合併症や他の心血管疾患（急性大動脈解離等）を含めた医療提供体制の構築を進める。
- 発症後、病院前救護を含め、早急に適切な治療を開始する体制の構築を進める。
- 早期心リハの推進とともに、適切な運動療法や薬物療法等、急性期から回復期及び慢性期まで一貫した医療が提供されるよう、かかりつけ薬剤師・薬局の活用等を含め、連携を図る。

#### <糖尿病関連>

- 重症化予防対策には、受診中断患者数の減少や早期からの適切な指導・治療が重要であり、医療機関と薬局、保険者が連携する取組を進める。
- 医療機関のみではなく、日常生活に近い場でも栄養・運動等の指導をうけられるよう、医療従事者が地域での健康づくり・疾病予防に参加できる機会を創出する。

#### <精神疾患関連>

- 長期入院精神障害者の地域移行等の課題を踏まえた精神疾患の医療提供体制の構築に当たっては、これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会における議論を踏まえて必要な見直しを行う。

### ■ 医療計画全体に関する事項について

- 地域における医療提供体制の構築に当たっては、地域医療構想における病床の機能分化・連携を進めていくこととしており、それぞれの医療機関が地域において果たす役割を踏まえ、地域全体で効率的・効果的な医療提供体制を構築していくことが必要
- ロコモ、フレイル、肺炎、大腿骨頸部骨折等、その対策については、他の関連施策と調和を取りつつ、疾病予防、介護予防等を中心に、医療・介護が連携した総合的な対策を講じる

### ■ 4 事業及び在宅医療について

#### <救急医療関連>

- メディカルコントロール（MC）協議会等をさらに活用すべき
- 円滑な受け入れ体制の整備やいわゆる出口問題へ対応するため、救急医療機関と、かかりつけ医や介護施設等の関係機関との連携・協議する体制を構築する。また、日頃からかかりつけ医を持つこと、救急車の適正利用等についての理解を深めるための取組を進める。

#### <災害時医療関連>

- ロジスティックチームの強化や災害医療コーディネート体制の整備をすすめる。
- BCP 策定について、災害拠点病院だけでなく地域の一般病院においても推進する。
- 広域医療搬送を想定した訓練を積極的に実施するなど、近隣都道府県連携を強化する
- 被災地における必要な医薬品の提供体制の確保に関しても合わせて検討する。

#### <周産期（救急）医療関連>

- ハイリスク妊産婦及び新生児に係る整備を都道府県全体の医療体制整備と連動したものとしてさらに進めるため、「周産期医療体制整備計画」を「医療計画」に一本化して推進する。
- 災害時に妊産婦・新生児等へ対応できる体制の構築を進めるため、「小児周産期災害リエゾン」の養成を進める。

#### <小児（救急）医療関連>

- 拠点となる医療機関の整備を進めるとともに、拠点となる医療機関が存在する地域においては、地域の実情を踏まえた医療体制を整備する。
- 地域における受け入れ体制を構築するための人材育成や、地域住民の小児医療への理解を深めるための取組を進める。

#### <在宅医療関連>

- 在宅医療サービスと介護サービスが、地域の実情に応じて補完的に提供されるよう、介護保険事業計画等における整備目標と統合的な目標を検討する。
- 例えばサ高住の整備計画や療養病床の動向など、在宅医療の提供体制を考える上で地域で留意すべき事項や協議の進め方について、国において整理し、都道府県に示していく。

※ 当検討会以外にも、別途個別の検討会で議論されているものもあり、それらの検討状況も踏まえつつまとめられています。

（がん診療提供体制のあり方に関する検討会、脳卒中・心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制のあり方に関する検討会、これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会、等）



【趣旨】

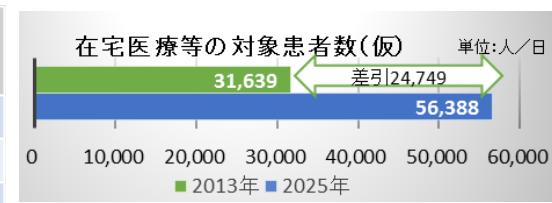
団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて、医療需要が増加する中で、患者の状態に応じた質の高い医療を効率的に提供する体制を確保するため、各都道府県は国が提供する地域の医療需要の将来推計や病床機能報告に基づく情報等を活用し、地域医療構想を策定しました。地域医療構想は、構想区域ごとの **2025 年における病床数の必要量を含む医療提供体制に関する構想及び当該構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携の推進に関する事項**として県の医療計画に定めるものです。

【現状・課題】 2025 年に関する将来推計

【ポイント1】 市全体において約 7,000 床が不足 (特に回復期・慢性期病床不足が顕著) (地域医療構想)

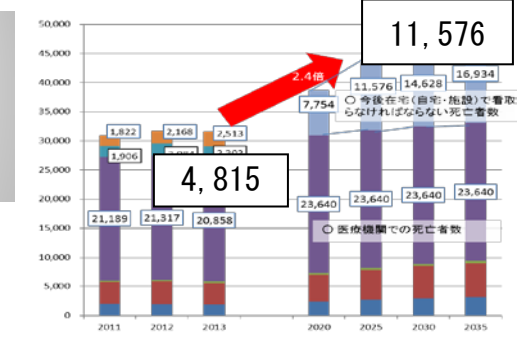
横浜市計	2025年の医療需要 (人/日)	病床稼働率	①2025年必要病床数 (推計)	②2014年 (報告)	差引 ②-①
高度急性期	3,140	75%	4,187	6,311	2,124
急性期	8,336	78%	10,687	10,067	△620
回復期	7,995	90%	8,883	1,939	△6,944
慢性期	5,886	92%	6,398	4,390	△2,008
合計	25,357	-	30,155	22,935	△7,220

【ポイント2】 在宅医療需要が約 1.8 倍に増加 (地域医療構想)



※ 在宅医療等: 居宅のほか、特養、老健等、病院・診療所以外の場所における医療等を指す。また療養・一般病床の一部患者も含む。

【ポイント3】 在宅・施設での看取りは約 2.4 倍に増加 (市独自試算)



【方向性】 2025 年に向けた医療提供体制の確保

< 基本方針 >

- 約 7,000 床と推計される病床不足の解消を目指し、国の動向を踏まえ、患者受療動向や施設整備等の状況を適宜 **モニタリング**しながら、**段階的に医療機能を確保**
- 地域中核病院・市立病院・市大病院等を中心に、**回復期・慢性期医療から在宅医療まで一体的に機能するバランスの取れた地域医療提供・連携体制を構築**
- 限られた医療資源・人材を、疲弊させることなく有効に活用し、2025 年問題に対応するため、**連携の推進と新たな資源の生み出し**が必要。

【方向性 1】 病床機能の確保及び連携体制の構築

【方向性 2】 地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実

【方向性】

- ① 市全体を 1 つの構想区域に設定
- ② 病床稼働や患者受療動向などのモニタリングによる必要病床数の精査
- ③ 毎年の病床機能報告等のデータを活用した段階的な整備の検討
- ④ 既存の医療機関の増床や転換による回復期、慢性期病床の整備推進
- ⑤ ICT の活用も含めた緊密な地域医療連携体制の構築
- ⑥ 市民の適切な受療行動の促進に向けた普及啓発
- ⑦ 地域医療介護総合確保基金の活用

【施策例②】 医療ビッグデータの活用

高齢化や医療資源等地域ごとに異なる実情を把握し、将来の医療需要や提供体制のあり方を定量的に分析するため、独自にレセプトデータ等を収集し、分析できる環境を整備する。

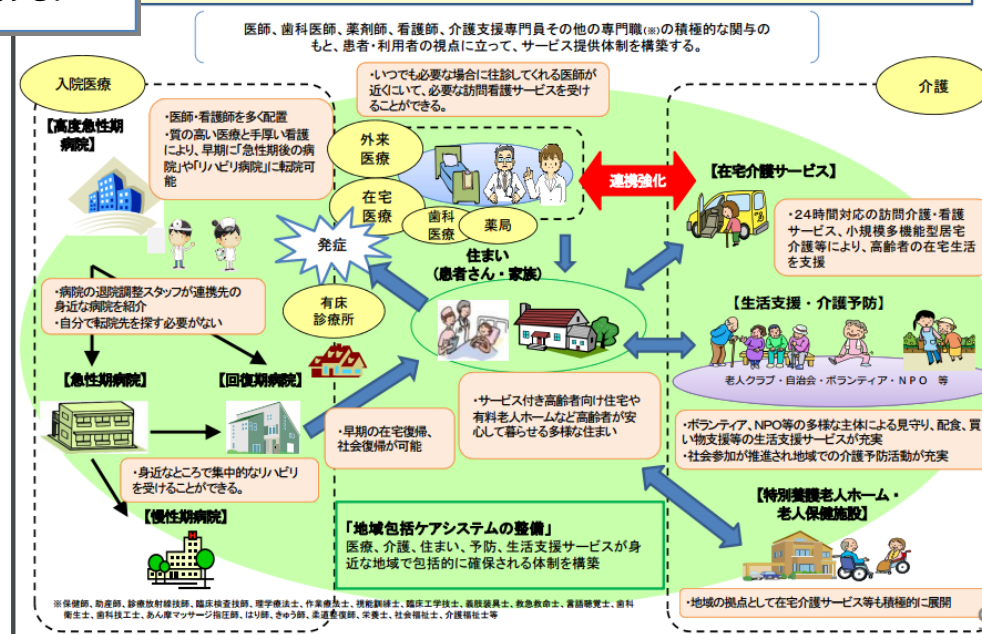
【施策例①】 バランスの取れた医療提供体制の整備

構想区域を 1 つに設定し、それぞれの地域ごとにバランスよく医療提供体制の整備を進める。基幹病院や地域医療機関等との効率的・効果的な連携体制の構築を目指す。

- (凡例)
- 地域中核病院
  - 市立病院
  - 市大附属病院
  - その他基幹病院



医療・介護サービスの提供体制改革後の姿 (サービス提供体制から)



第一回 医療計画の見直し等に関する検討会(厚労省)

【方向性】

- ① 在宅医療連携拠点の 18 区全区運営による医療・介護連携の推進
- ② 在宅医の増加に向けた研修の実施
- ③ かかりつけ歯科機能の充実と多職種間連携による医療サービスの推進
- ④ かかりつけ薬局機能の充実と切れ目のない服薬管理の推進
- ⑤ 認知症患者やその家族を地域で支える環境づくり
- ⑥ 認知症の正しい知識の普及啓発
- ⑦ 市民に向けた在宅医療の普及・啓発

【施策例③】 在宅医療連携拠点の充実

「医療と介護の橋渡し役」として、相談機能や多職種連携、市民啓発等を進める。在宅医を増やし、負担感を軽減するため、連携体制の構築等を進める。

【施策例④】 認知症施策の推進

老老介護や独居高齢者が見込まれる中、認知症を抱えつつ住み慣れた地域で暮らせるよう、医療・介護両面で包括的に支援できる地域づくりを進める。(認知症疾患センター整備/初期集中支援チーム設置、かかりつけ医研修等)

【方向性 3】 将来の医療需要を支える医療従事者の確保・養成

【方向性】

- ① 総合診療医の育成に向けた取組の推進
- ② 在宅分野に重きを置くカリキュラムによる看護職員の育成
- ③ 高齢化の進展に対応可能な歯科医師・歯科衛生士の確保・養成の推進

【施策例⑤】 病院・訪問看護ステーション連携推進事業

病棟看護師・訪問看護師双方が、相互交流を通じ実践的に学ぶ場づくりをする。在宅生活を見据えた退院支援の実施など、円滑な地域連携のために必要な技術・経験を獲得する。

- ④ かかりつけ薬剤師の養成と在宅医療への参加の促進
- ⑤ 病床機能の分化に伴い必要となる医療従事者の確保・養成
- ⑥ 在宅医療において、患者の状態に応じて、チームで対応できる質の高い人材の育成

# 【2016年実施案】横浜市民の医療に関する意識調査

## 1 調査の目的

市民が、自分や家族が医療機関を受診する際に、どのように情報を得て、何を基準に医療機関を選択しているのか、医療に関してどのようなことを知りたいのか、どのような医療の充実を望んでいるのかなどを把握し、よこはま保健医療プラン2018に反映させるために行う。

前回と比べ、特に①地域医療構想の策定・反映、②地域包括ケアの推進が大きなテーマとなる。限りある医療・介護資源のなかで、効率的・効果的な医療提供体制を構築するため、市民の受療動向の把握を的確に把握し、今後に向けた基礎的指標とする。

(医療機関の適正受診、リビングウィル等看取り期の意向等、今期は市民への働きかけ・啓発活動が新たに加わる論点となる)

## 2 調査の概要

- ・調査対象 20歳以上の横浜市民3,000人(外国籍の方を含む) ・調査方法 郵送配布・郵送回収
- ・調査期間 平成28年12月上旬から中旬(→1月下旬:入力・単純集計完了、2月下旬以降:報告(保健医療協議会、部会等))

## 3 質問項目

### 基本項目

- ・年齢 ・性別
- ・居住区 ・職業

### 1. 受療行動

- 医療機関への定期的な受診状況
  - (1)月に1回以上定期受診しているか
- 比較的軽症時の考えや行動
  - (1)最初にとる行動
  - (2)かかりつけ医の有無
  - (3) →誰か(診療所・病院等)
  - (4) →いない理由
  - (5)医療機関の探し方
  - (6)医療機関選択時の重視点
- 手術・長期治療時の考えや行動
  - (1)医療機関選択時に知りたいこと
  - (2) →その探し方
  - (3)医療の自己決定のために必要なこと
  - (4)退院後の在宅療養で気になること
  - (5) →その調べ方

### 【新規】2. 急病時対応

- #7119認知度、評価、利用状況
- 救急受診ガイド認知度

### 【新規】3. がん

- がん相談支援センター認知度
- がん治療と仕事・家事等との両立
- 痛みを伴うがんの療養場所

### 4. 健康・感染症

- 健康のため気を付けていること
- 感染症予防のため気を付けていること
- 感染症の名前と予防法
- 情報の入手方法

### 5. 心療関連

- (1)かかる医療機関{診・病}{心・精}
- (2)相談窓口を知っているか

### 6. 歯科関連

- (1)歯・口腔で気になることはあるか
- (2) →その症状
- (3)かかりつけ歯科医はいるか
- (4)年に1回以上受診しているか
- (5) →その診療内容

### 7. 薬局関連

- (1)ジェネリックの選択意向
- (2)かかりつけ薬局。お薬手帳の有無
- (3) →かかりつけ薬局がなぜないか

### 8. 医療制度等

- (1)1次・2次・3次の区別がわかるか
- (2)病院の役割分担がわかるか  
(急性期・回り八・療養)

### 9. 情報と医療への満足度

- 医療について知りたい情報
- 情報の入手方法
- 医療への満足度
- 今後充実を希望する医療

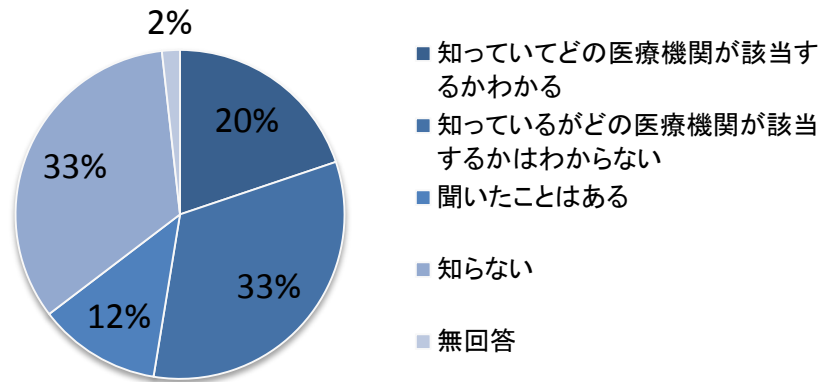
# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012調査より)

## 視点1：市民の受療行動について

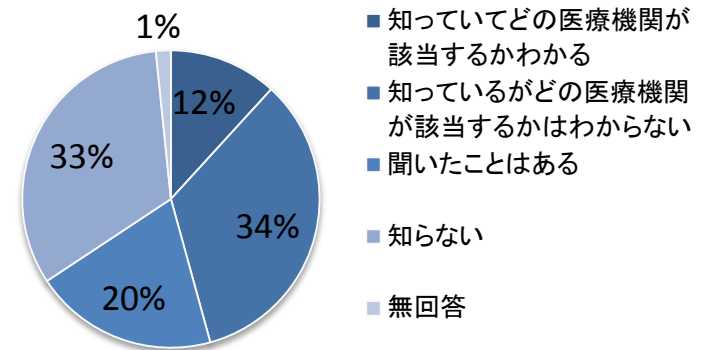
病状等に応じて、市民が適切に医療機関を選択できているか、受療行動について質問しました。

- ・一次～三次医療機関の役割の違いについて、5割以上の市民が「知っている」
- ・病床機能（急性期・回復期リハビリテーション・療養期）の違いについて、5割弱の市民が「知っている」
- ・慢性疾患の定期的通院先については、病院・診療所ともに均衡しているが、軽度の症状（発熱等）については、病院受診は少ない。

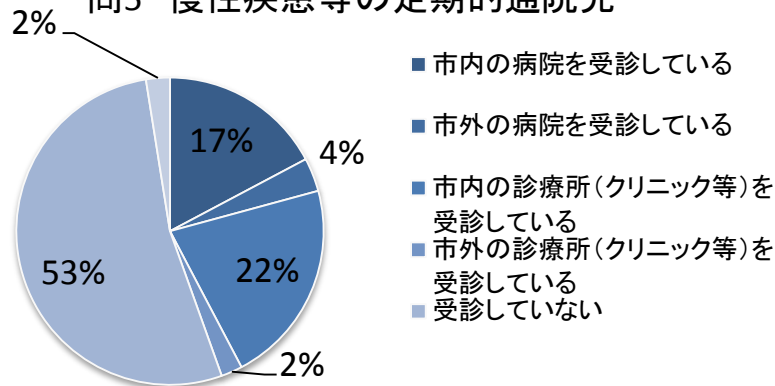
### 問27 医療機関の役割(一次～三次)の認知度



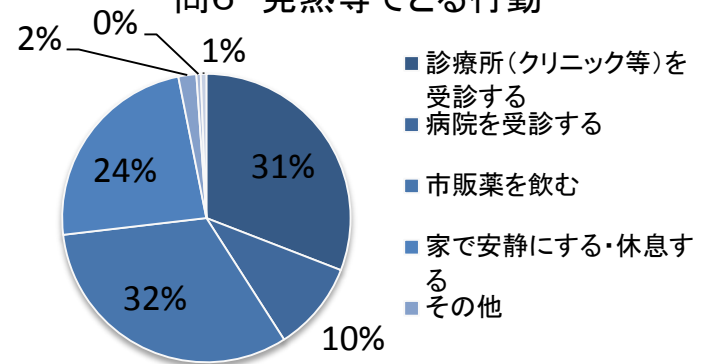
### 問28 病床機能(急性・回りハ・療養)の違いの認知度



### 問5 慢性疾患等の定期的通院先



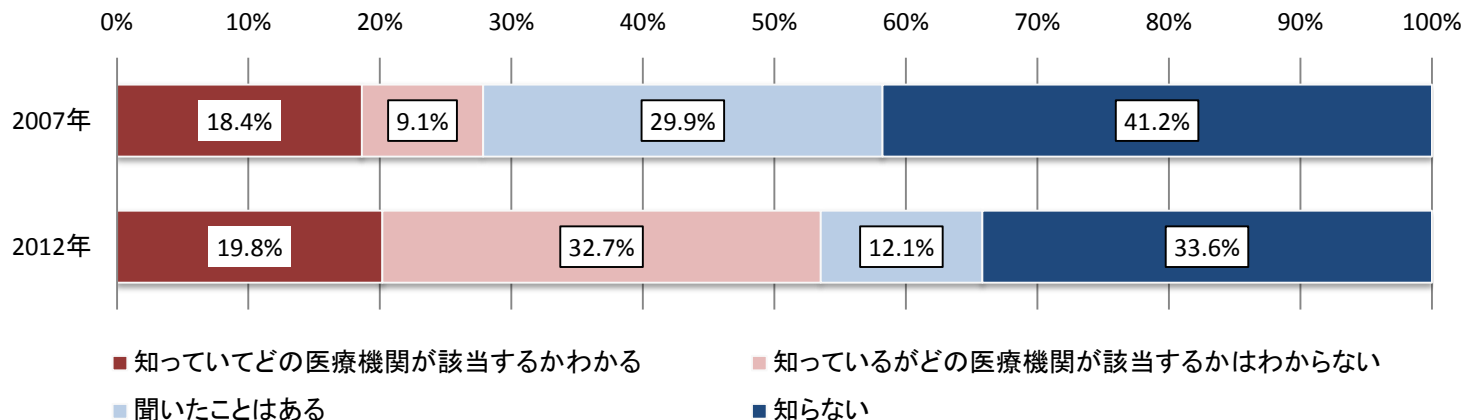
### 問6 発熱等でとる行動



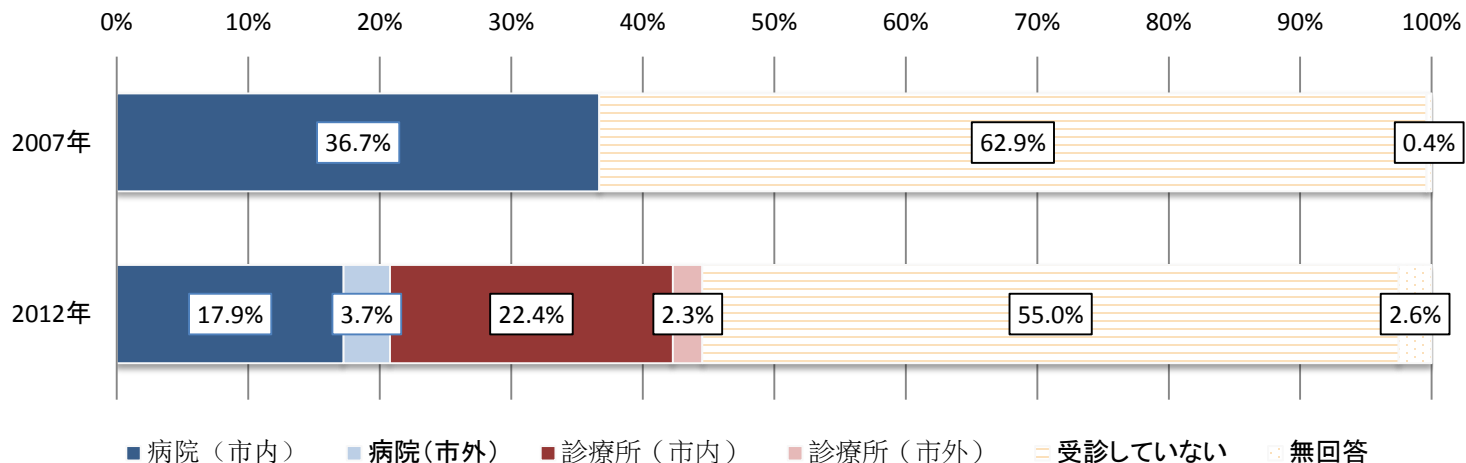
# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012・2007経年比較)

## 視点1：市民の受療行動について

### 問27 医療機関(一次～三次)の役割分担認知度



### 問5 慢性疾患等の定期的通院先



※問28 病床機能(急性・回リハ・療養)認知度、問6 発熱等時行動 は2012新規項目のため比較なし

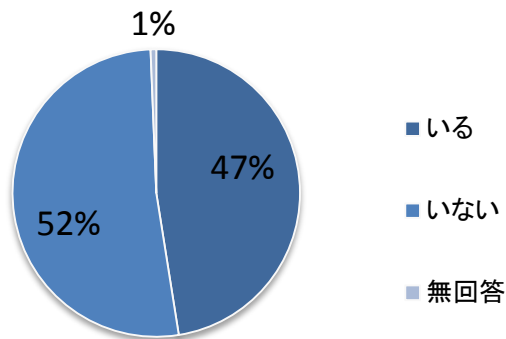
# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012調査より)

## 視点2：かかりつけ医について

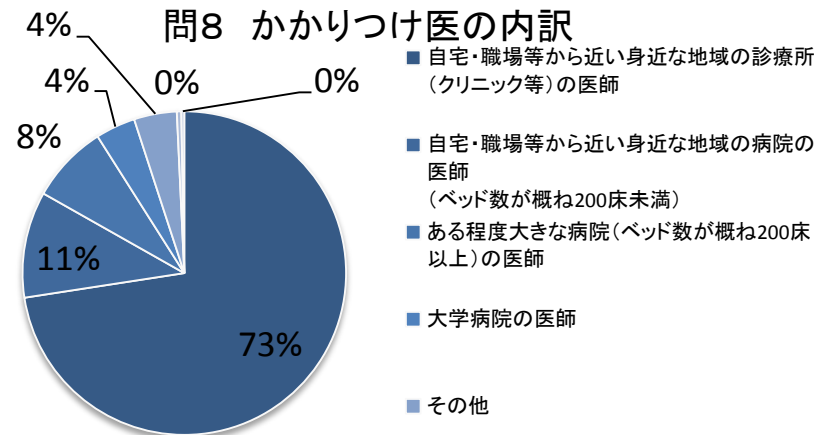
かかりつけ医の有無およびその内訳や、かかりつけ医がない理由について、質問しました。

- ・かかりつけ医について、約半数が「あり」と答えており、年齢が高くなるにしたがってその割合は大きくなっている。
- ・60歳代で6割強、70歳代で7割、80歳代で8割強の市民が、かかりつけ医「あり」と答えている。
- ・かかりつけ医がない理由について、「どのような医療機関を選んでよいか分からない(12%)」「必要と思うがどこに問い合わせたよいか分からない(15%)」と、選び方・考え方を理由にためらっている市民がいる。

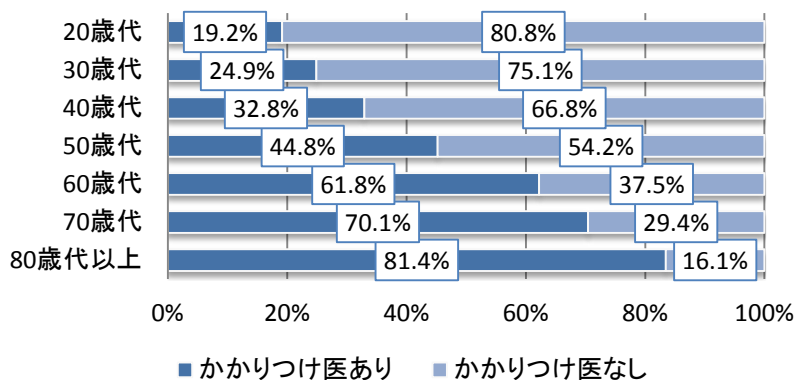
### 問7 かかりつけ医の有無



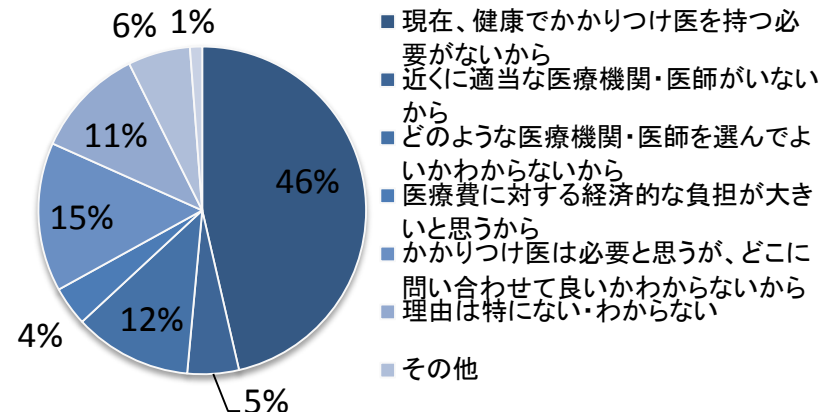
### 問8 かかりつけ医の内訳



### かかりつけ医の有無 年齢別内訳



### 問9 かかりつけ医がない理由



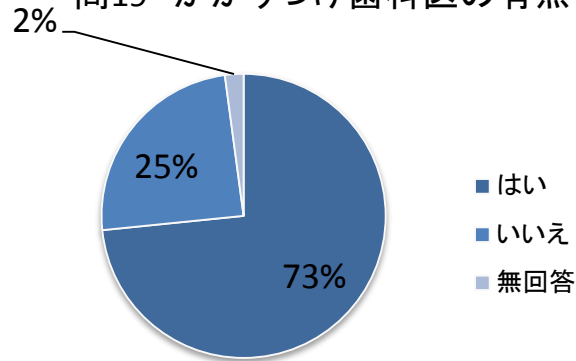
# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012調査より)

## 視点3：かかりつけ歯科医について

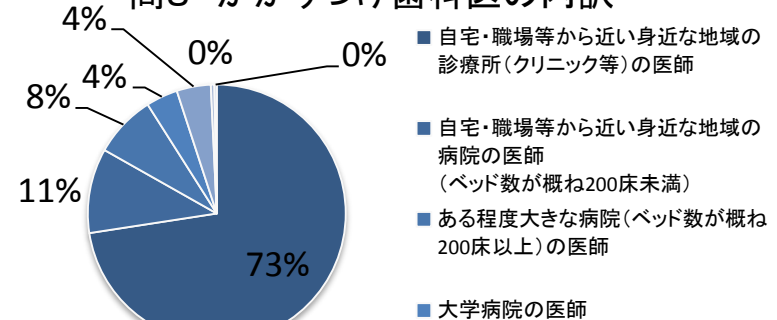
かかりつけ歯科医の有無およびその内訳や、かかりつけ歯科医がない理由について、質問しました。

- ・かかりつけ歯科医について、約4人に3人が「あり」と答えており、年齢の高い層のほうがやや多い。
- ・かかりつけ歯科医がない理由について、「どのような医療機関を選んでよいか分からない(12%)」「必要と思うがどこに問い合わせたよいか分からない(15%)」と、かかりつけ医と同様に選び方・考え方を理由にためらっている市民がいる。

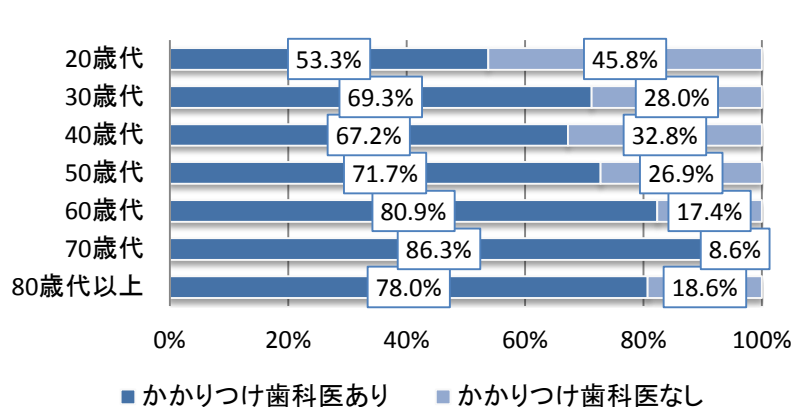
問19 かかりつけ歯科医の有無



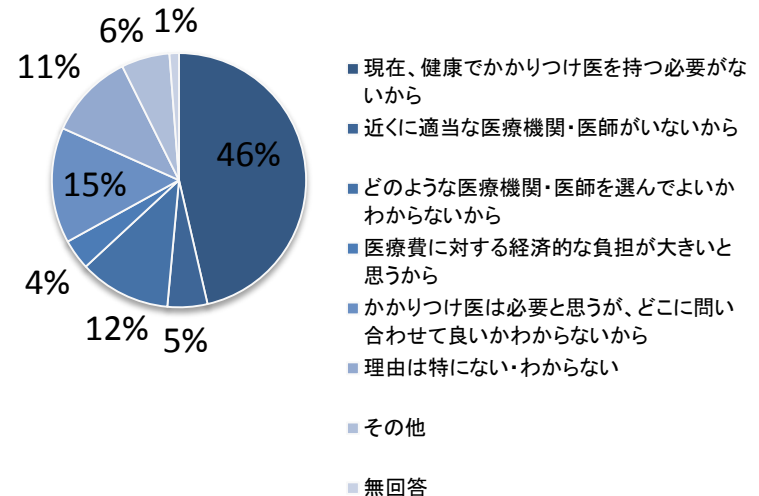
問8 かかりつけ歯科医の内訳



かかりつけ歯科医の有無 年齢別内訳



問9 かかりつけ歯科医がない理由

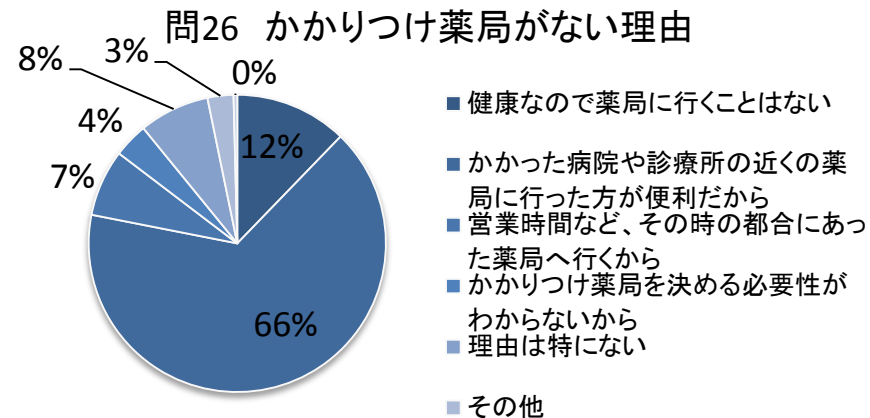
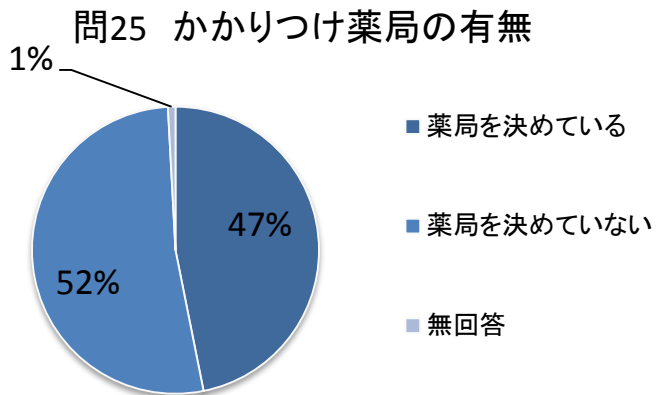


# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012調査より)

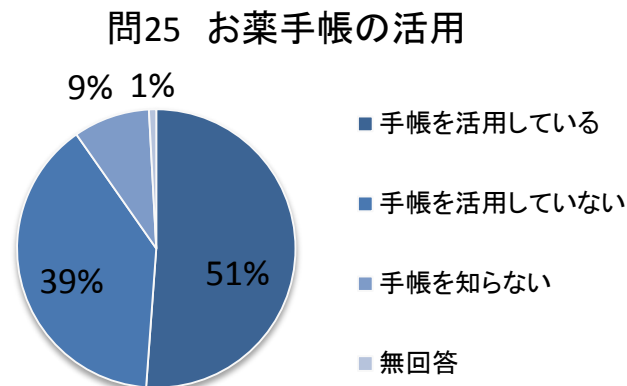
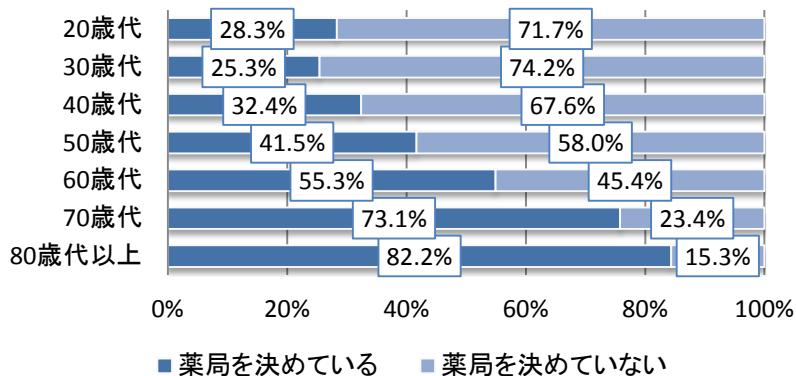
## 視点4：かかりつけ薬局・お薬手帳の活用について

かかりつけ薬局の有無およびその内訳や、お薬手帳の活用について、質問しました。

- ・かかりつけ薬局について、約半数が「あり」と答えており、年齢が高くなるにしたがってその割合は大きくなっている。
- ・かかりつけ薬局がない理由について、「かかった病院や診療所の近くの薬局に行った方が便利だから(66%)」を理由に挙げる市民が大半。



かかりつけ薬局の有無 年齢別内訳



# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012調査より)

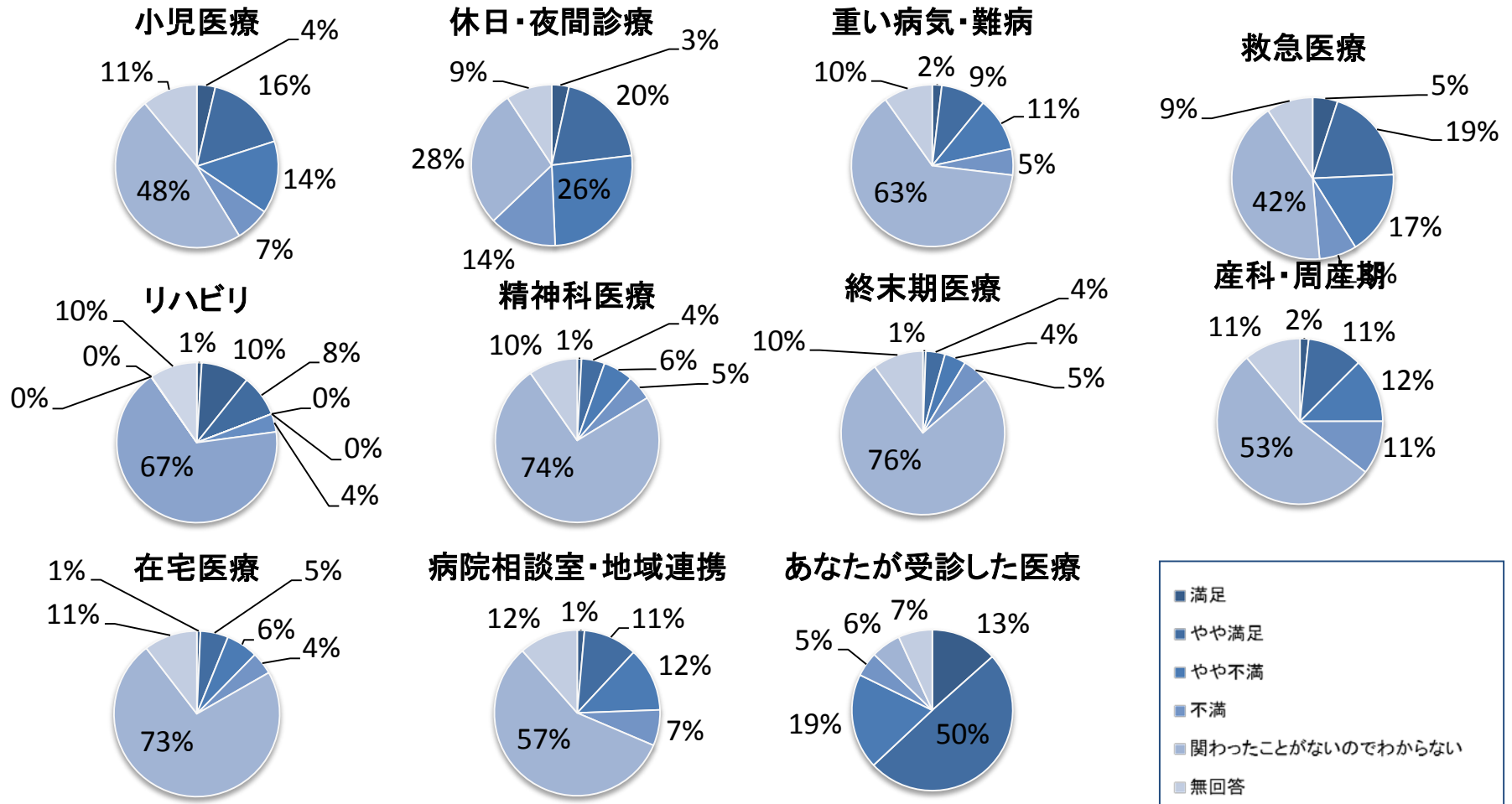
## 視点5：診療内容別の満足度

診療内容別に満足度（満足・やや満足・やや不満・不満）について質問しました。

・各診療内容とも、「満足・やや満足」と「やや不満・不満」の回答数は概ね拮抗している。

・「休日・夜間診療」については、「やや不満・不満」と回答する市民が若干多かった（①40歳代:53.8%,②30歳代:52.9%,③50歳代:45.3%）

・一方、「あなたが受診した医療」について聞くと、大半は「満足・やや満足」と回答している。

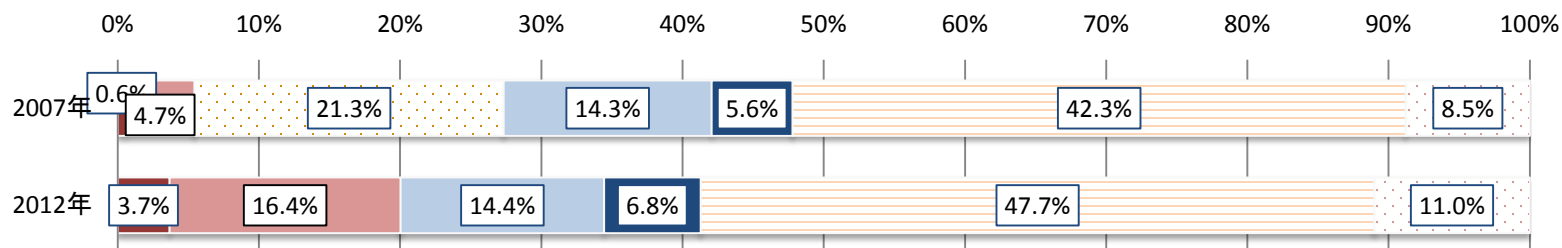




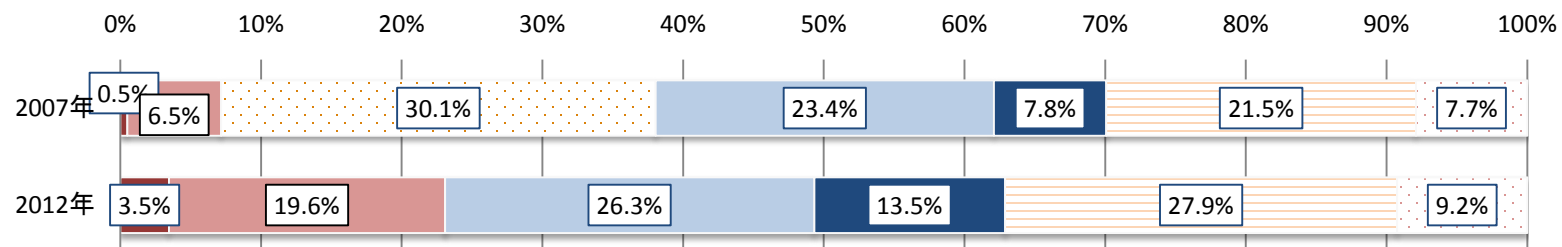
# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012・2007経年比較)

## 視点5：診療内容別の満足度

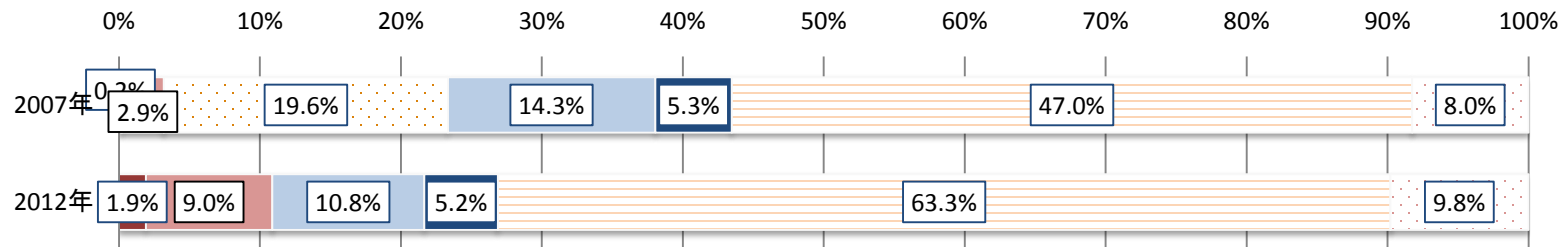
### 問32-1 診療内容別満足度(小児医療)



### 問32-2 診療内容別満足度(休日・夜間診療)



### 問32-3 診療内容別満足度(重い病気・難病)

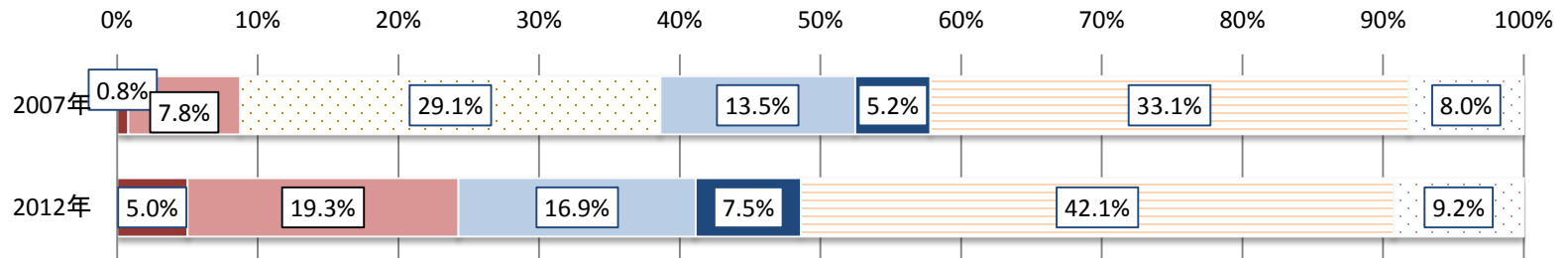


■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

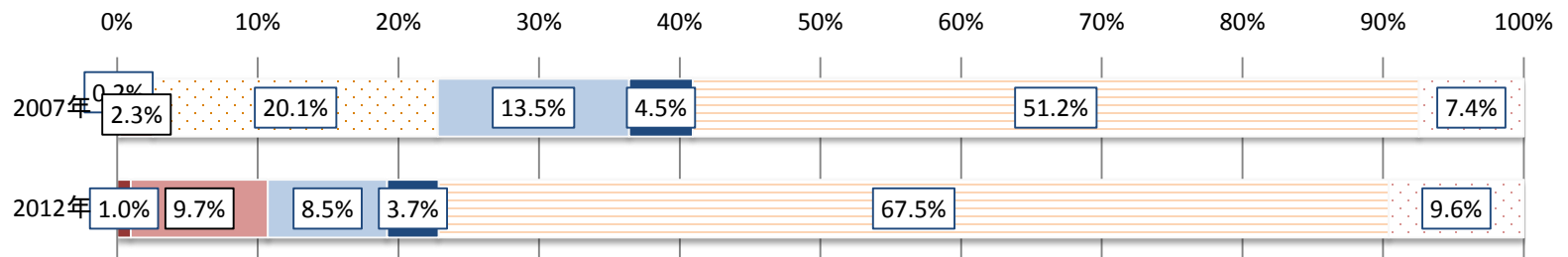
# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012・2007経年比較)

## 視点5：診療内容別の満足度

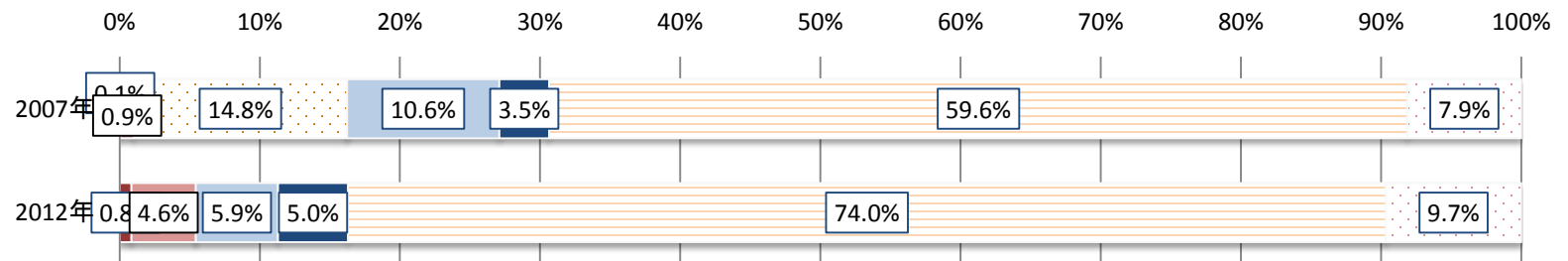
### 問32-4 診療内容別満足度(救急医療)



### 問32-5 診療内容別満足度(リハビリ)



### 問32-6 診療内容別満足度(精神科医療)

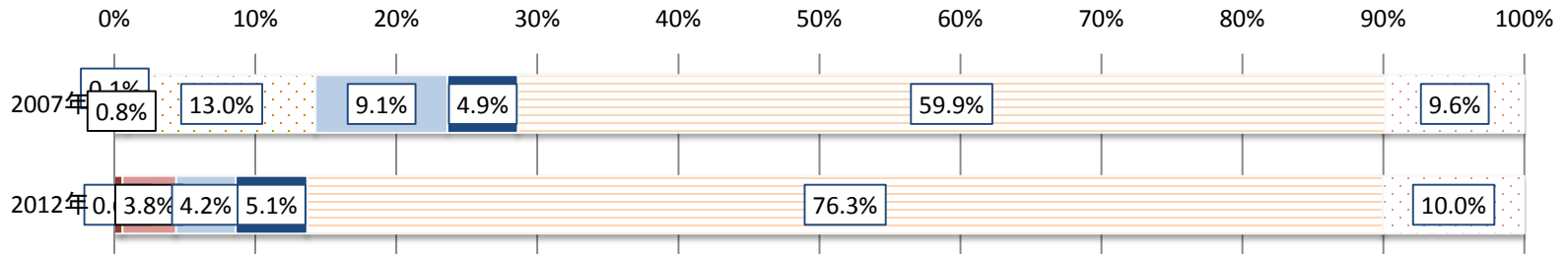


■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

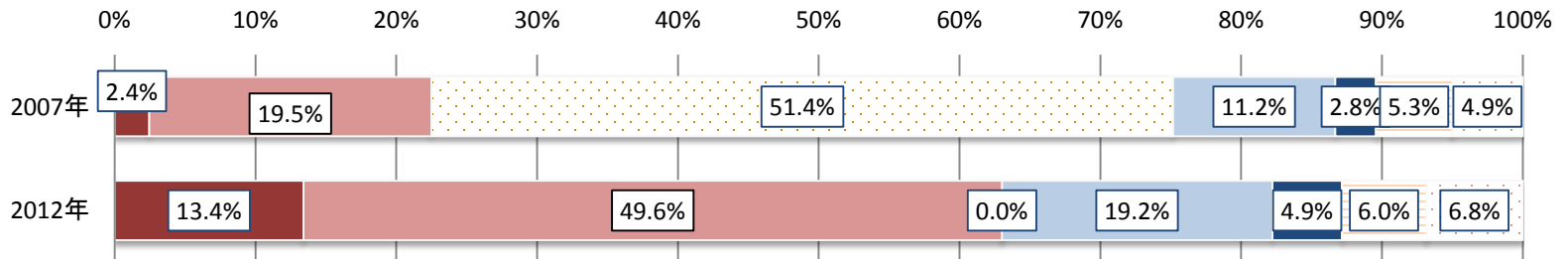
# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012・2007経年比較)

## 視点5：診療内容別の満足度

問32-7 診療内容別満足度(終末期医療)



問32-11 診療内容別満足度(あなたが受診した医療機関)



■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

※ 32-8 産科・周産期、32-9 在宅医療 32-10 病院相談室 は2012新規項目のため比較なし

# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012調査より)

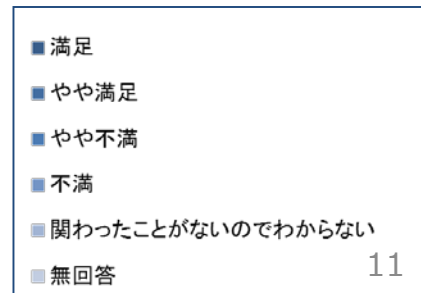
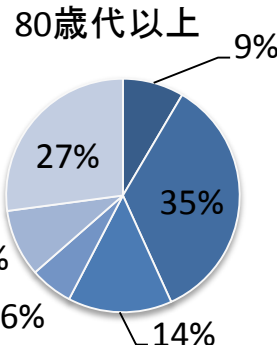
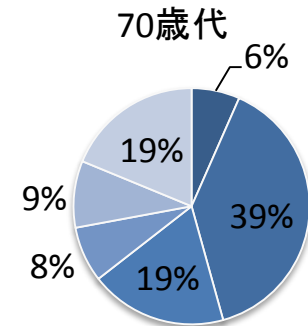
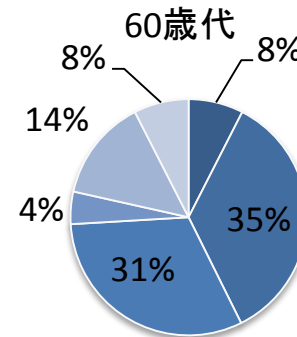
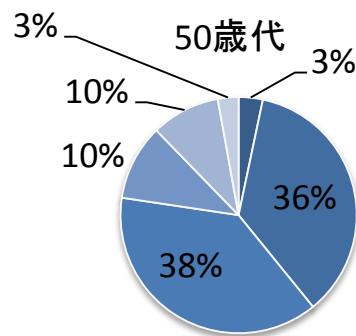
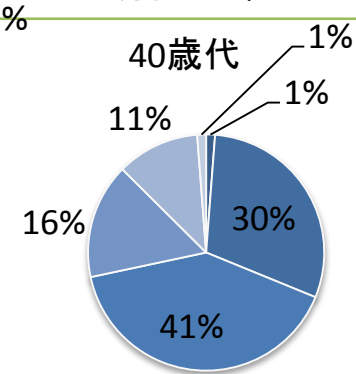
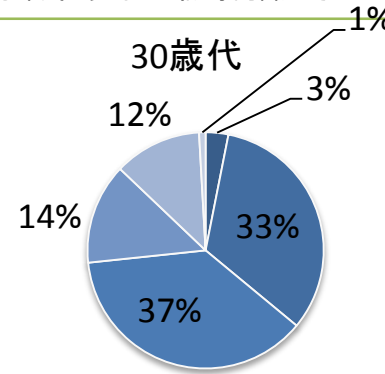
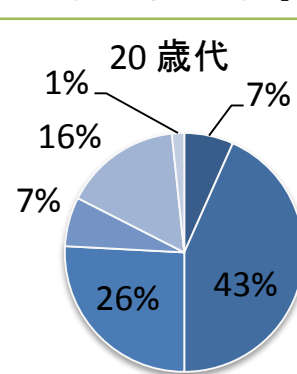
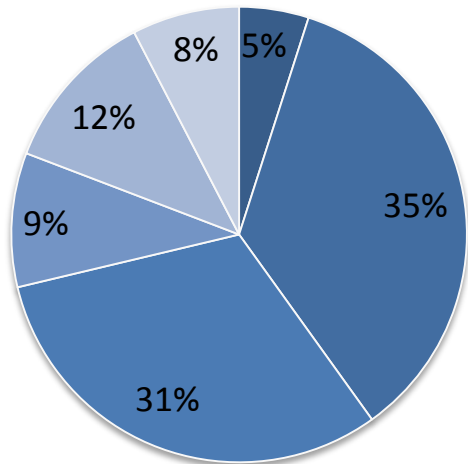
## 視点6：横浜の医療について

総じて「横浜の医療」への満足度（満足・やや満足・やや不満・不満）について質問しました。

・各診療内容とも、「満足・やや満足」と「やや不満・不満」の回答数は拮抗している。

・また、診療内容別の満足度と異なり、「関わったことがないのでわからない」とする市民は少ない（診療内容別では28～76%に対し、12%）。

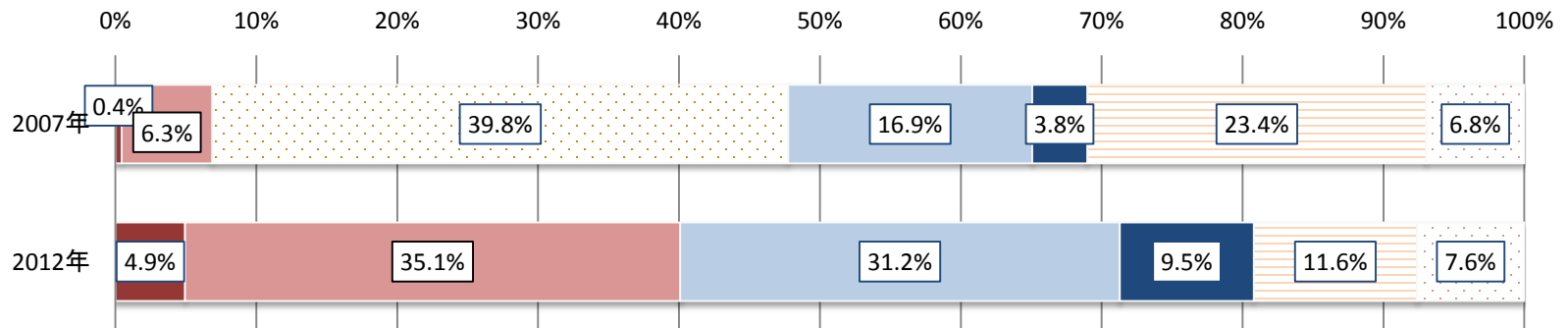
横浜の医療について(総合的に)



# 【参考】市民の受療行動に関する主な指標(2012・2007経年比較)

## 視点6：横浜の医療について

問32-12 診療内容別満足度(横浜の医療について)



■ 満足 ■ やや満足 ■ ふつう ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

※ 各年代別満足度については、2007値がないため比較なし

## 【参考】経年比較（2007調査・2012調査より）

### ポイント

前回(2012)・前々回(2007)間で5%以上の変化があった項目を抽出したところ、

- ・医療機関の役割分担（一次・二次・三次）について、「知っている」の割合が増えている（**+25.1%**；380人・27.5% ⇒ 745人・52.6%）
- ・情報収集方法について、「インターネットで探す」の割合が増えている（医療機関検索+14.9%、手術病院検索+9.3%、医療について調べる+8.7%）

	質問項目	回答
問5	あなたは、現在、高血圧や糖尿病などの慢性的な病気の治療や薬の処方を受けるため、病院又は診療所(クリニック等)(但し、歯科診療所は除く)を定期的(概ね1か月に1回以上)に受診していますか	受診していない ▲7.9%
問10	あなたは、医療機関をどのような方法・手段で探していますか(特にあてはまるもの2つ)	<b>インターネットで探す +14.9%</b> かかりつけ医を受診するので特に探さない ▲21.0%
問11	あなたは、受診する医療機関を選択するとき、診療科の他にどのような点を重視しますか(特にあてはまるもの2つ)	自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ +5.2%
問13	問12(大きな手術や長期療養する医療機関を選ぶために知りたいこと)で選んだ情報について、あなたはどのような方法・手段で情報を集めますか(特にあてはまるもの2つ)	家族・友人・知人に聞く ▲6.6% <b>インターネットで調べる +9.3%</b>
問14	あなたは、ご自分の病気や治療について知り、受ける医療をご自身で選択・決定するためには、何が必要と考えますか(特にあてはまるもの2つ)	病院等の相談室、医療専門職による相談の充実 ▲5.1% セカンドオピニオンを受けられる環境整備 +6.3%
問15	あなたが入院治療の後、在宅で療養生活を送ることになった場合、関心のあることとはどのようなことですか(特にあてはまるもの2つ)	往診医や訪問看護師、ケアマネジャーなど 在宅療養を担う医療サービス・介護サービス に関すること +5.9% 在宅で受けられる医療(入院時との違いなど) に関すること ▲5.6%
問27	医療機関には、一次、二次、三次とそれぞれ役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことを知っていますか	知っているがどの医療機関が該当するかは わからない +23.6% 聞いたことはある ▲17.9% 知らない ▲7.6% <b>知っている(①+②) +25.1%</b>

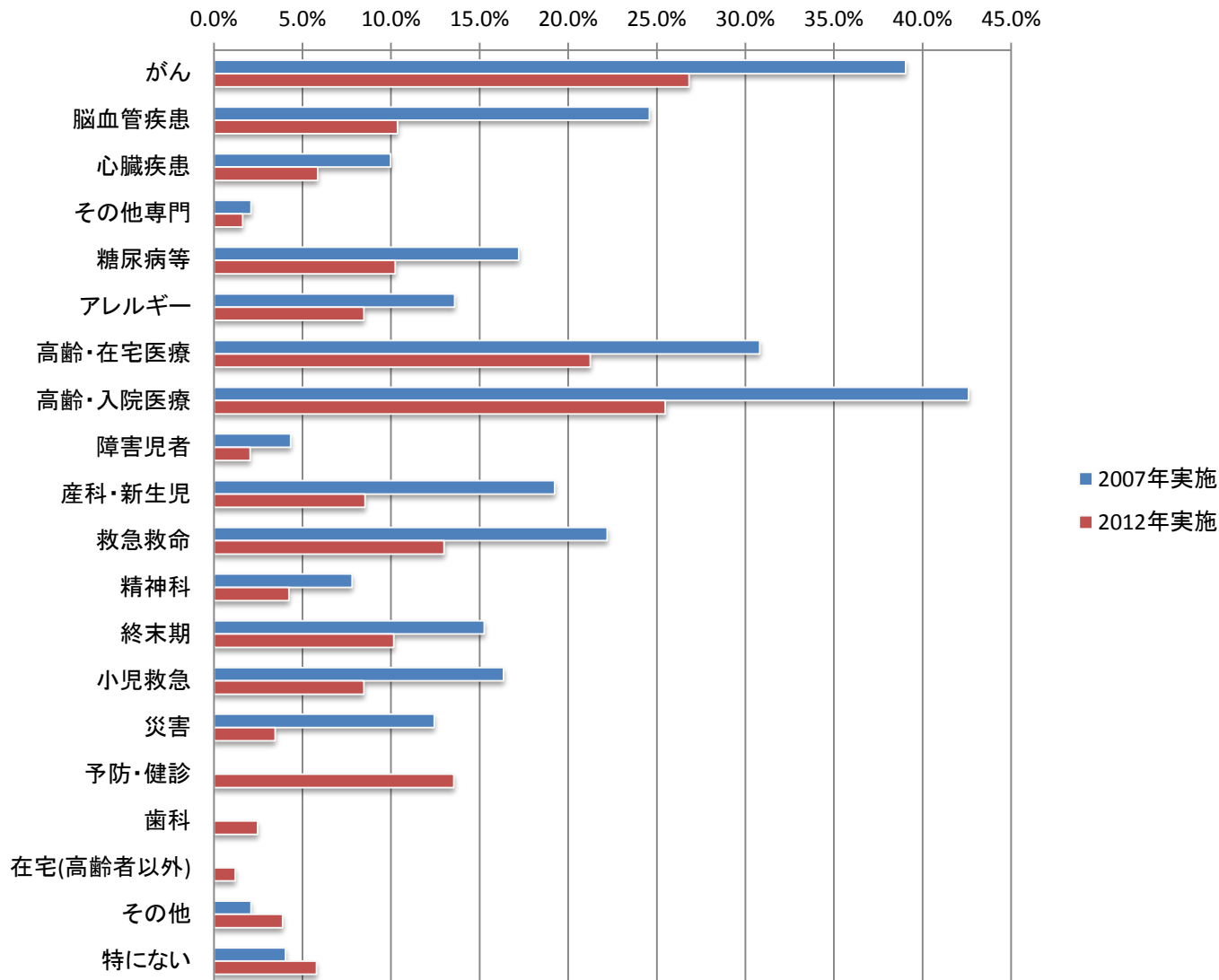
## 【参考】経年比較（2007調査・2012調査より）

	質問項目	回答
問29	あなたが、今後、充実を希望する医療は何ですか(複数回答可)	がん ▲11.3% 脳血管疾患 ▲13.6% 高血圧、糖尿病等 ▲6.6% 在宅医療(高齢) ▲8.8% 長期入院(高齢) ▲16.1% 産科・新生児 ▲10.2% 救急 ▲8.7% 小児救急 ▲7.5% 災害時医療 ▲8.7%
問30	あなたが現在、医療について知りたい情報は何か(複数回答可)	診療実績 ▲14.3% 専門分野 ▲10.7% 標準的費用 ▲5.9%
問31	問30で選んだ情報について、あなたは、どのような方法・手段で情報を知りたいと考えますか(複数回答可)	自治体広報誌 ▲11.1% 自治体Web ▲6.4% <u>インターネットで調べる +8.7%</u>

※ 両調査時で項目構成に変更が大きくあった項目は除く(医療別満足度(問32～)など)

# 【参考】経年比較（2007調査・2012調査より）

## 問29 今後充実を希望する医療





# 横浜市民の医療に関する意識調査

横浜市医療局

## 調査の趣旨とご協力をお願い

横浜市では、皆様が現在、ご自身やご家族が医療機関を受診する際にどのように情報を得て、何を基準に医療機関を選択しているか、また、医療に関してどのようなことをご知りになりたいか、どのような医療の充実を望んでいるのかを調べ、横浜市の医療施策に役立てるため、「横浜市民の医療に関する意識調査」を実施させていただくこととしました。

本調査は、横浜市在住の20歳以上の方、3,000人を年齢階層や居住区を問わず無作為に抽出し、送付させていただいております。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、横浜市の医療施策を推進していくための参考とさせていただき、本調査の目的以外には一切使用しません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

☆ 調査結果は、横浜市医療局ホームページで公開いたします。

(お名前などの個人情報は一切公開いたしません。)

横浜市医療局ホームページアドレス

<http://www.city.yokohama.lg.jp/iryo/>

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

医療局医療政策部医療政策課

電話 045-671-2993

FAX 045-664-3851

e-mail ir-seisaku@city.yokohama.jp

### 調査票の記入にあたってのお願い

- 1 調査をお願いしたご本人が、高齢などのためご記入できない場合は、ご家族の方がご本人からお聞きするなどして、ご記入をお願いします。
- 2 ご回答は、あてはまる答えの番号を○印で囲んでいただくものがほとんどですが、具体的にご記入していただく場合もあります。
- 3 ご回答により、質問が分かれることや、該当する方だけにお聞きするものもあります。
- 4 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で、○月○日（○）までにご投函ください。（切手はいりません。）  
※ 住所・氏名のご記入は必要ありません。

# 調 査 票

## 【基礎項目】

問1 あなたの年齢について、**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳代   | 2. 30歳代   | 3. 40歳代   | 4. 50歳代   |
| 5. 60～64歳 | 6. 65～69歳 | 7. 70～74歳 | 8. 75～79歳 |
| 9. 80歳以上  |           |           |           |

問2 あなたの性別について、**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたがお住まいの区について、**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |           |         |         |        |         |
|-----------|---------|---------|--------|---------|
| 1. 青葉区    | 2. 旭区   | 3. 泉区   | 4. 磯子区 | 5. 神奈川区 |
| 6. 金沢区    | 7. 港南区  | 8. 港北区  | 9. 栄区  | 10. 瀬谷区 |
| 11. 都筑区   | 12. 鶴見区 | 13. 戸塚区 | 14. 中区 | 15. 西区  |
| 16. 保土ヶ谷区 | 17. 緑区  | 18. 南区  | (五十音順) |         |

問4 あなたの職業等について、**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |          |            |              |        |
|----------|------------|--------------|--------|
| 1. 自営業   | 2. 会社員・公務員 | 3. パート・アルバイト |        |
| 4. 主婦・主夫 | 5. 学生      | 6. 無職        | 7. その他 |

問5 あなたは、現在、高血圧や糖尿病などの慢性的な病気の治療や薬の処方を受けるため、病院又は診療所（クリニック等）（ただし歯科診療所は除く）を定期的（概ね1か月に1回以上）に受診していますか。

**最も日常的に受診するものを1つ選び、番号に○をつけてください。**

1. 市内の病院を受診している
2. 市外の病院を受診している
3. 市内の診療所（クリニック等）を受診している
4. 市外の診療所（クリニック等）を受診している
5. 受診していない

～用語解説～

**○ 診療所（クリニック等）**

入院用のベッドを持たない又は20床未満のベッドを有し、主に日常の健康管理や比較的軽症の医療、必要時の専門医療機関への紹介等を行うための医療機関のこと

**○ 病院**

20床以上の入院用のベッドを有し、主に入院治療や手術を行うための医療機関のこと

**【発熱（38度前後）やのどの痛みなどの比較的軽い症状のときの、あなたの行動や考え方について伺います】**

問6 あなたが、発熱（38度前後）やのどの痛みなどで心身の具合が悪いとき、最初に、あなたはどのような行動をとることが多いですか。

**あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。**

1. 診療所（クリニック等）を受診する
2. 病院を受診する
3. 市販薬を飲む
4. 家で安静にする・休息する
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_）
6. わからない

問7 あなたには、あなたの心身の状態をわかっていて、治療だけでなく 日常の健康管理や相談ができる医師（かかりつけ医） がありますか。

**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |        |       |
|--------|-------|
| 1. いる  | 【問8へ】 |
| 2. いない | 【問9へ】 |

問8 問7で「1. いる」に○をつけた方に伺います。

あなたのかかりつけ医は次のどれですか。

**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 自宅・職場等から近い身近な地域の診療所（クリニック等）の医師           |   |
| 2. 自宅・職場等から近い身近な地域の病院の医師<br>（ベッド数が概ね200床未満） |   |
| 3. ある程度大きな病院（ベッド数が概ね200床以上）の医師              |   |
| 4. 大学病院の医師                                  |   |
| 5. その他（具体的に                                 | ） |
| 6. わからない                                    |   |

問8を回答の方は、次ページの【問10】へお進みください

---

問9 問7で「2. いない」に○をつけた方に伺います。

かかりつけ医がない理由は何ですか。

**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1. 現在、健康でかかりつけ医を持つ必要がないから            |   |
| 2. 近くに適当な医療機関・医師がないから                |   |
| 3. どのような医療機関・医師を選んでよいかわからないから        |   |
| 4. 医療費に対する経済的な負担が大きいと思うから            |   |
| 5. かかりつけ医は必要と思うが、どこに問い合わせが良いかわからないから |   |
| 6. 理由は特にない・わからない                     |   |
| 7. その他（具体的に                          | ） |

問 10 あなたは、医療機関をどのような方法・手段で探していますか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 自宅や勤務先から近い医療機関を探す
2. 家族・知人・友人に聞く
3. 介護・看護関係者（ケアマネジャーや訪問看護師など）に聞く
4. 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）に聞く
5. 薬局に聞く
6. 電話相談窓口（#7119、横浜市救急相談センター、横浜市医師会地域医療連携センターなど）で探す
7. 電話帳で探す
8. 雑誌、専門情報誌、書籍（ランキング本など）で探す
9. フリーペーパー（無料の情報誌）で探す
10. 自治体で作成している広報誌（暮らしのガイドなど）で探す
11. 市役所・区役所などの自治体のホームページで探す
12. 医師会などの医療関係団体のホームページで探す
13. インターネットで探す（11. と 12. のホームページを除く）
14. かかりつけ医を受診するので特に探さない
15. その他（具体的に )

問 11 あなたは、受診する医療機関を選択するとき、診療科の他にどのような点を重視しますか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 自宅・職場等からの距離や交通の便の良さ
2. 診療日・診療時間など
3. 家族や知人など周囲の人からの評判の良さ
4. 設備（医療機器など）の充実
5. 医療機関・医師の診療実績・専門分野
6. 在宅対応（往診又は訪問診療）ができるか
7. 待ち時間の長さ
8. 病院等の相談室、医療専門職による相談の充実
9. アメニティ（駐車場、子供のプレイルームなど）の充実
10. その他（具体的に )

**【あなたやご家族が、大きな手術や長期の療養が必要な病気にかかったときの行動や考え方について伺います】**

問 12 あなたやご家族が大きな手術や入院治療などを受ける医療機関を選ぶために、どのようなことを知りたいと考えますか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 自宅・職場等からの距離や交通の便
2. 家族や知人など周囲の人からの評判
3. 医療機関の規模（病床数、医師や看護師などのスタッフ数など）
4. 医療機関の設備（医療機器など）
5. 医療機関・医師の治療実績（治ゆ率、手術件数など）
6. 医療機関の対応可能な疾患・治療法  
（【例】がんなどの場合に放射線治療ができる医療機関、抗がん剤治療ができる医療機関など）
7. 差額ベッド料金や標準的な治療費などの費用
8. 病室の広さや清潔性、駐車場の有無などのアメニティ
9. 医師の経歴
10. 病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制
11. 在宅医療などの退院後のフォロー体制
12. その他（具体的に )
13. 知りたいことはない・わからない

問 13 問 12 で○をつけた情報について、あなたは どのような方法・手段 で情報を集めますか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 家族・友人・知人に聞く
2. かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く
3. 医療機関の相談窓口聞く
4. 介護・看護関係者（ケアマネジャーや訪問看護師など）に聞く
5. 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）に聞く
6. 区役所等の自治体の窓口聞く
7. 雑誌、専門情報誌、書籍（ランキング本など）で調べる
8. インターネットで調べる
9. 医療機関の病気や治療に関する講演会等で話を聞く
10. その他（具体的に )
11. わからない

問 14 あなたは、ご自分の病気や治療について知り、受ける医療をご自身で  
選択・決定するためには、何が必要と考えますか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 主治医による病状や治療方針の十分な説明
2. 病院等の相談室、医療専門職による相談の充実
3. セカンドオピニオンを受けられる環境整備
4. 医療に関する書籍や情報を集めた場所の提供  
(図書館や病院の医療情報コーナーなど)
5. 患者会・セルフサポートグループの活動の情報の提供
6. 医療に関する市民向けの講演会やイベント等の情報の提供
7. リビングウィルに関する知識
8. その他(具体的に )
9. わからない

～用語解説～

**セカンドオピニオン** 治療や手術について、主治医以外の他の医療機関の医師の意見を求めること

**患者会・セルフサポートグループ** 特定の病気の患者や家族が集まって、情報交換などの活動をしている団体のこと

**リビングウィル** 自身が治療の選択について自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないか、自分で判断できなくなった場合に備えて代わりに誰に判断してもらいたいかをあらかじめ記載する書面のこと

問 15 あなたが入院治療の後、引き続き自宅で療養生活を送ることになった  
場合、関心のあることはどのようなことですか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 療養環境(室内の段差をなくすなど)整備に関すること
2. 家族の肉体的・精神的な負担に関すること
3. 経済的な負担に関すること
4. 緊急時に入院できる施設(病院等)に関すること
5. 往診医や訪問看護師、ケアマネジャーなど在宅療養を担う  
医療サービス・介護サービスに関すること
6. 在宅で受けられる医療(入院時との違いなど)に関すること
7. 看取りに関すること
8. その他(具体的に )
9. 知りたいことはない・わからない



問 16 問 15 で○をつけた情報について、あなたは どのような方法・手段 で情報を集めますか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 家族・友人・知人に聞く
2. かかりつけ医・最初に受診した医療機関に聞く
3. 医療機関の相談窓口聞く
4. 介護・看護関係者（ケアマネジャーや訪問看護師など）に聞く
5. 地域ケアプラザ（地域包括支援センター）に聞く
6. 在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）に聞く
7. 区役所等の自治体の窓口聞く
8. 雑誌、専門情報誌、書籍（ランキング本など）で調べる
9. インターネットで調べる
10. 医療機関の病気や治療に関する講演会等で話を聞く
11. その他（具体的に )
12. わからない

～用語解説～

**○ 在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）**

疾病を抱えても市民の方が住み慣れた家等で療養生活し、継続的な在宅医療・介護を受けられるよう、横浜市医師会と協働し、18区に整備しています。在宅医療に関するご相談をケアマネジャーや市民の方から受けたり、在宅医療を担う医師への支援を行っています。

## 【急病時の対応についてお伺いします】

問 17 横浜市では、急な病気やけがのときに電話相談ができる、救急相談センター（#7119）を設置していますが、**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

1. 知っていて、利用したことがある。 【→問 18 へ】
2. 知っているが、利用したことはない。 【→問 21 へ】
3. 知らなかったが、今後利用してみたい。【→問 21 へ】
4. 知らないし、利用しないと思う。 【→問 21 へ】

問 18 問 17 で「1. 知っていて、利用したことがある」に○をつけた方に伺います。

利用された際の印象はいかがでしたか。**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

1. 役立った。
2. どちらかと言えば、役立った。
3. どちらかと言えば、役立たなかった。
4. 役立たなかった。

問 19 問 17 で「1. 知っていて、利用したことがある」に○をつけた方に伺います。

利用された際のご自身の想定と助言の内容について、**あてはまるものを全て**選び、番号に○をつけてください。

1. 救急車を呼ぶつもりだったが、その必要はないと助言をうけた
2. (救急車を使わず)すぐに受診するつもりだったが、翌日以降まで経過をみてよいと助言をうけた
3. 自身で思っていた通りの助言だった。
4. 救急車を呼ぶつもりはなかったが、念のため相談したところ、救急車を呼ぶように助言をうけた (又は119へ電話を転送した)
5. 経過をみるつもりでいたが、念のため相談したところ、(救急車を使う必要はないが)すぐに受診するように助言をうけた。

問 20 問 17 で「1. 知っていて、利用したことがある」に○をつけた方に伺います。

利用された際の助言をうけて どう行動されましたか。**あてはまるものを全て**選び、番号に○をつけてください。

1. 助言通りに受診又は救急車を呼んだ。又は助言通りに様子を見た。
2. 受診又は救急車が必要と助言されたが、様子を見た。
3. 救急車以外で受診するよう助言されたが、救急車に依頼した。
4. 経過をみるつもりでいた又は翌日以降の受診を助言されたが、すぐに受診した。

問 21 横浜市では、急な病気やけがのときに、パソコンやスマートフォンで緊急や受診の必要性を確認できる「救急受診ガイド」を運用していますが、**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

1. 知っていて、利用したことがある。
2. 知っていて、利用したことはない。
3. 知らなかったが、今後利用したい。
4. 知らないし、利用しないと思う。

## 【がん対策についてお伺いします】

問 22 がんの専門的な医療を提供する医療機関として、国や神奈川県が一定の基準により指定する「都道府県がん診療連携拠点病院」、「地域がん診療連携拠点病院」「神奈川県がん診療連携指定病院」がありますが、そこではその病院にかかっている人も相談をすることができる「がん相談支援センター」が設置されていることを知っていますか。**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

1. 知っていて、どの医療機関に設置されているかわかる
2. 知っているが、どの医療機関に設置されているかはわからない
3. 聞いたことはある
4. 知らない

問 23 あなたやあなたの身近な方ががんにかかった場合、仕事や家事などの日常生活とがんの治療の両立はできると思いますか。**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

1. 両立できる
2. 条件を整えば両立できる
3. 両立できない
4. 治療に専念したいので、両立したいと思わない
5. その他 ( )

問 24 問 23 で「2. 条件を整えば両立できる」に○をつけた方に伺います。

それはどのような条件ですか。 あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 症状や体力的な問題
2. 意欲など精神的な問題
3. 職場の理解、制度
4. 家族の理解、協力
5. 治療の方法やスケジュール
6. その他 ( )

問 25 あなたやあなたの身近な方が、がんの痛みがある場合に緩和ケアを受ける場所として、希望する場所はどこですか。 あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 自宅
2. がん診療を専門的に扱っている病院
3. 一般的な病院
4. その他 ( )

～用語解説～

○緩和ケア

緩和ケアとは、がんの患者さんの体や心のつらさを和らげ、生活やその人らしさを大切にする考え方です。緩和ケアは、がんが進行してからだけではなく、がんが診断された時から必要に応じて行われるものです。また、がんの治療中かどうかや入院外来、在宅医療などの場を問わず、いずれの状況でも受けることができます。

## 【健康や感染症の予防について伺います】

問 26 健康でいられるように日頃の生活で気をつけていること がありますか。

あてはまるものを全て 選び、番号に○をつけてください。

1. 食生活
2. 運動をする
3. 規則正しい生活
4. 十分な睡眠
5. 手を洗う
6. うがい
7. 人ごみに出かけるときは、マスクをする
8. 健康診断やがん検診を定期的に受ける
9. その他 ( )
10. 特になし

問 27 感染症の予防のために日頃の生活で気をつけていること がありますか。

あてはまるものを全て 選び、番号に○をつけてください。

1. 石けんで手を洗う（帰宅時、食事前、トイレの後、動物に触った後等）
2. 咳やくしゃみが出るときはマスクをする（咳エチケット）
3. 予防接種を受ける（家族に受けさせる）
4. 肉類は十分加熱して食べる
5. 屋外活動時は虫よけ剤を使う
6. ペット動物との過度な接触（キス、スプーンや箸の共用など）を避ける
7. 海外に行くときは渡航先の感染症情報をチェックする

問 28 感染症の名前 について、知っているものを全て 選び、番号に○をつけてください。

1. インフルエンザ
2. 感染性胃腸炎（ノロウイルスやロタウイルスなど）
3. 腸管出血性大腸菌感染症（O157など）
4. デング熱
5. 麻しん（はしか）
6. 結核

## 【こころの病気についてお伺いします】

問 29 あなたやご家族が、こころの病気にかかったとき、どの医療機関を受診しますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 内科などの病院・診療所（クリニック等）
2. 心療内科診療所（クリニック等）
3. 精神科（神経内科）診療所（クリニック等）
4. 精神科（神経内科）病院
5. 総合病院

問 30 あなたは、こころの病気の相談窓口について知っていますか。

あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。

1. 最寄りの区役所（福祉保健センターなど）
2. こころの電話相談（こころの健康相談センター）
3. 精神科救急医療情報窓口
4. 横浜市総合保健医療センター
5. 横浜市精神障害者家族連合会
6. その他（ ）
7. 1～6のどれも知らない

## 【歯と歯科診療についてお伺いします】

問 31 あなたは、歯や口の状態について何か気になるところがありますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |        |          |
|--------|----------|
| 1. はい  | 【問 31 ～】 |
| 2. いいえ | 【問 32 ～】 |

問 32 問 31 で「1. はい」に○をつけた方に伺います。

それはどのような症状ですか。

**あてはまるものを全て**選び、番号に○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 歯が痛んだりしみたりする</li><li>2. 歯ぐきが腫れたり出血する</li><li>3. 歯がぐらぐらする</li><li>4. 硬いものがかみにくい</li><li>5. 食べ物が歯と歯の間にはさまる</li><li>6. かむ・味わう・飲み込む事に不自由がある</li><li>7. 口臭が気になる</li><li>8. 入れ歯が合わない</li><li>9. その他 ( )</li></ol> |
|--|

問 33 あなたは、かかりつけの歯科医院（診療所）を決めていますか。

**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. はい</li><li>2. いいえ</li></ol> |
|--|

問 34 あなたは、この1年間に歯科医院（診療所）や病院の歯科を受診したことがあるですか。

**あてはまるものを1つ**選び、番号に○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 受診した</li><li>2. 受診中</li><li>3. 受診していない</li></ol> | <p>【問 35 ～】<br/>【問 35 ～】<br/>【問 36 ～】</p> |
|---|---|

問 35 問 34 で「1. 受診した」、「2. 受診中」に○をつけた方に伺います。  
受診した内容は何ですか。

**あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。**

1. むし歯の治療（詰め物、冠をかぶせる等）
2. 歯周疾患（歯肉炎、歯槽膿漏等）の治療
3. 抜けた歯の治療（入れ歯、ブリッジの作成・修理）
4. 歯ならびやかみあわせの治療
5. 定期健診・歯みがき指導等
6. 事故などによる損傷の治療
7. 歯のホワイトニング
8. その他（ )

### 【薬と薬局について伺います】

問 36 あなたは、「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」を積極的に選びますか。  
**あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。**

1. 積極的に選ぶ
2. 選びたくない
3. こだわらない
4. 知らない・聞いたことがない
5. その他（具体的に )

問 37 あなたは、かかりつけ薬局を決めておくすり手帳を活用していますか。  
**あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。**

1. 薬局を決めていて、手帳を活用している 【問 37 〜】
2. 薬局を決めていて、手帳は活用していない 【問 37 〜】
3. 薬局を決めていて、手帳は知らない 【問 37 〜】
4. 薬局を決めていないが、手帳を活用している 【問 36 〜】
5. 薬局を決めておらず、手帳を活用していない 【問 36 〜】
6. 薬局を決めておらず、手帳は知らない 【問 36 〜】



問 38 問 37 で「4. 薬局を決めていないが～」 「5. 薬局を決めておらず、～」 「6. 薬局を決めておらず、～」 に○をつけた方に伺います。

かかりつけ薬局を決めていない理由は何ですか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 健康なので薬局に行くことはない
2. かかった病院や診療所の近くの薬局に行った方が便利だから
3. 営業時間など、その時の都合にあった薬局へ行くから
4. かかりつけ薬局を決める必要性がわからないから
5. 理由は特にない
6. その他（具体的に )

### 【医療制度等について伺います】

問 39 医療機関には、

○軽いけがや風邪等の入院や手術を伴わない軽症に対応する医療機関（一次）

○胃潰瘍など入院や手術を伴う重症に対応する医療機関（二次）

○交通事故による多発外傷など生命の危機に係わる症状に対応する医療機関（三次）

とそれぞれ役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことを知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っていて、どの医療機関が該当するかわかる
2. 知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない
3. 聞いたことはある
4. 知らない

問 40 病院には、急性期病院、回復期リハビリテーション病院、療養を担う病院などがあり、それぞれの病院ごとに役割が違うことを知っていますか。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 知っていて、どの医療機関が該当するかわかる
2. 知っているが、どの医療機関が該当するかはわからない
3. 聞いたことはある
4. 知らない

～用語解説～

○ **急性期病院** けがや病気の発症直後や手術の前後など、患者の症状が不安定な状態の時期（急性期）の医療に対応する病院。

○ **回復期リハビリテーション病院** 脳卒中や大腿骨骨折などにより急性期の治療を行った後に、日常的な生活能力の向上による寝たきりの防止と在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病院。

○ **療養を担う病院** 急性期の治療などにより症状は安定しているものの、引き続き、医療的な対応が長期間必要な患者の入院に対応する病院。

## 【医療に関する情報と医療への満足度について伺います】

問 41 あなたが 現在、医療について知りたい情報は何ですか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 所在地・診療科・診療時間等の医療機関の基本的情報に関すること
2. 医療機関・医師の診療実績・治療実績に関すること
3. 医療機関・医師の対応できる疾患・専門分野に関すること
4. 医療機関の病室の広さや清潔さなどのアメニティに関すること
5. (一般的な) 病気・病状に関すること
6. (一般的な) 病気の治療内容・入院期間に関すること
7. (一般的な) 病気の治療にかかる標準的な費用に関すること
8. 医療制度や医療提供体制に関すること
9. 医療費助成に関すること (高額療養費制度等)
10. 高度先端医療に関すること
11. 退院後の治療に関すること
12. 病院等の相談機能、地域医療機関等との連携体制
13. 在宅医療に関すること
14. 訪問診療・往診の提供に関すること
15. 歯科医師による訪問歯科診療に関すること
16. 薬剤師による訪問服薬指導に関すること
17. その他 (具体的に )
18. 特にない・わからない

問 42 問 41 で○をつけた情報について、あなたは、どのような方法・手段で情報を知りたいと考えますか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 雑誌、専門情報誌、書籍（ランキング本など）で調べる
2. 自治体で作成している広報誌（暮らしのガイドなど）で調べる
3. 市役所・区役所などのホームページで調べる
4. 医師会などの医療関係団体のホームページで調べる
5. インターネットで調べる（3. と4. のホームページを除く）
6. 講演会などで医師から話を聞く
7. 医療機関で主治医から聞く
8. 医療機関の相談窓口聞く
9. 地域の薬局などで薬剤師から聞く
10. 介護・看護関係者（ケアマネジャーや訪問看護師など）に聞く
11. 区役所の窓口や電話相談で聞く
12. 地域ケアプラザに聞く
13. 家族や知人など周囲の人から聞く
14. 医師会などの医療関係団体に聞く
15. 在宅医療連携拠点（在宅医療相談室）に聞く
16. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

問 43 横浜市の医療などに満足していますか。

次のそれぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選び、番号に○を  
つけてください。

(※ご自身が直接かかったことのない場合でも、身近な方がかかったなど  
関わりがある場合は、その状況を踏まえてお答えください。)

	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
<b>【記入例】</b> ○○○について	1	2	3	4	5
1. がんの診療について	1	2	3	4	5
2. 脳血管疾患（脳卒中）の診療について	1	2	3	4	5
3. 心臓疾患の診療について	1	2	3	4	5
4. 糖尿病の診療について	1	2	3	4	5
5. 精神科医療について	1	2	3	4	5
6. リハビリテーション医療について	1	2	3	4	5
7. 重い病気・難病などの診療について	1	2	3	4	5
8. 歯科医療について	1	2	3	4	5
9. 薬局について	1	2	3	4	5
10. 休日や夜間の医療について	1	2	3	4	5
11. 救急医療について	1	2	3	4	5
12. 災害時医療について	1	2	3	4	5
13. 産科・周産期医療について	1	2	3	4	5
14. 小児医療について	1	2	3	4	5
15. 在宅医療について	1	2	3	4	5
16. 人生の最終段階における医療について	1	2	3	4	5
17. 病院等の相談室・地域連携について	1	2	3	4	5
18. あなたが受診した医療機関で受けた診療について	1	2	3	4	5
19. 横浜の医療について（総合的に）	1	2	3	4	5

問 44 あなたが、今後、充実を希望する医療は何ですか。

あてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

1. がんに対する医療
2. 脳血管疾患（脳卒中）に対する医療
3. 心臓疾患に対する医療
4. 高血圧、糖尿病などの慢性疾患医療
5. アレルギーに関する医療
6. 精神科医療
7. 障害児・者に対する医療
8. 歯科医療
9. 救急医療
10. 災害時医療
11. 産科・周産期医療
12. 小児医療
13. 小児救急医療
14. 高齢者に対する在宅医療
15. 高齢者に対する入院医療（長期療養など）
16. 人生の最終段階における医療
17. 予防医学（健康診断、がん検診、人間ドック等）
18. 高齢者以外の在宅医療（高齢者に対する在宅医療は、「14」を選択）
19. その他（具体的に )
20. 特にない

～用語解説～

○人生の最終段階における医療

末期がんなどの患者に対して主に延命治療ではなく、身体的苦痛・精神的苦痛を軽減することによって残りの人生の質を向上することを目的とした療養法のこと。従来「終末期医療」と言われていましたが、最期まで尊厳を尊重した人間の生き方に着目した医療を目指すことが重要であるとの考え方に基づき、改められました。

ご協力ありがとうございました。